

平成 25 年
都産技研の利用に関する調査
アウトカム
評価報告書



平成 26 年 4 月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成18年4月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、今年度は設立9年目を迎えます。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている企業の皆さまのより一層のお役に立てるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を先般実施いたしました。今回は4,622名の皆さまにアンケートを依頼し、2,283名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成26年4月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 片岡正俊

目 次

1. 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象	1
1.3 調査方法	1
1.4 調査内容（調査用紙の項目）	1
1.5 回収結果	1
2. 調査結果	2
2.1 都産技研利用のきっかけ	2
2.2 情報提供について	3
2.3 都産技研の利用実態について	4
2.3.1 技術相談	5
2.3.2 依頼試験	8
2.3.3 機器利用	11
2.3.4 オーダーメイドセミナー	14
2.3.5 オーダーメイド開発支援	15
2.3.6 利用状況まとめ	18
2.4 都産技研の利用による経済効果	19
2.5 他機関の利用状況	23
2.6 今後の利用意向及び要望	26
2.7 興味や関心のある事業(サービス)・分野	29
2.8 都産技研の海外展開サービス	31
3. 総括	34
3.1 利用者からのご意見・ご要望	34
3.2 今までの取り組みと今後の方向性について	35
参考資料	36

1. 調査概要

1.1 調査目的

都産技研の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法に必要なデータを取得するために実施した。

1.2 調査対象

平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の方で、個人情報の利用に同意いただいた方 4,622 名を対象とした。

1.3 調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者へ配布

回収方法：記入した調査用紙を郵送または Fax にて返送

期間：平成 26 年 1 月 28 日から平成 26 年 3 月 10 日まで

※途中督促はがき及び督促電話を実施

1.4 調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけについて
- (2) 情報提供について
- (3) 各事業の利用実態について
 - ・利用した事業の利用目的
 - ・利用した事業の目的達成度
 - ・利用した際の職員の対応
 - ・都産技研利用による経済効果
 - ・他機関の利用状況等
- (4) 興味関心や要望について
 - ・今後の利用意向と要望等
 - ・興味や関心のある事業(サービス)・分野
 - ・都産技研の海外展開サービス

1.5 回収結果

2,283 名の方から回答をいただいた。(回答率 49.4%)

2. 調査結果

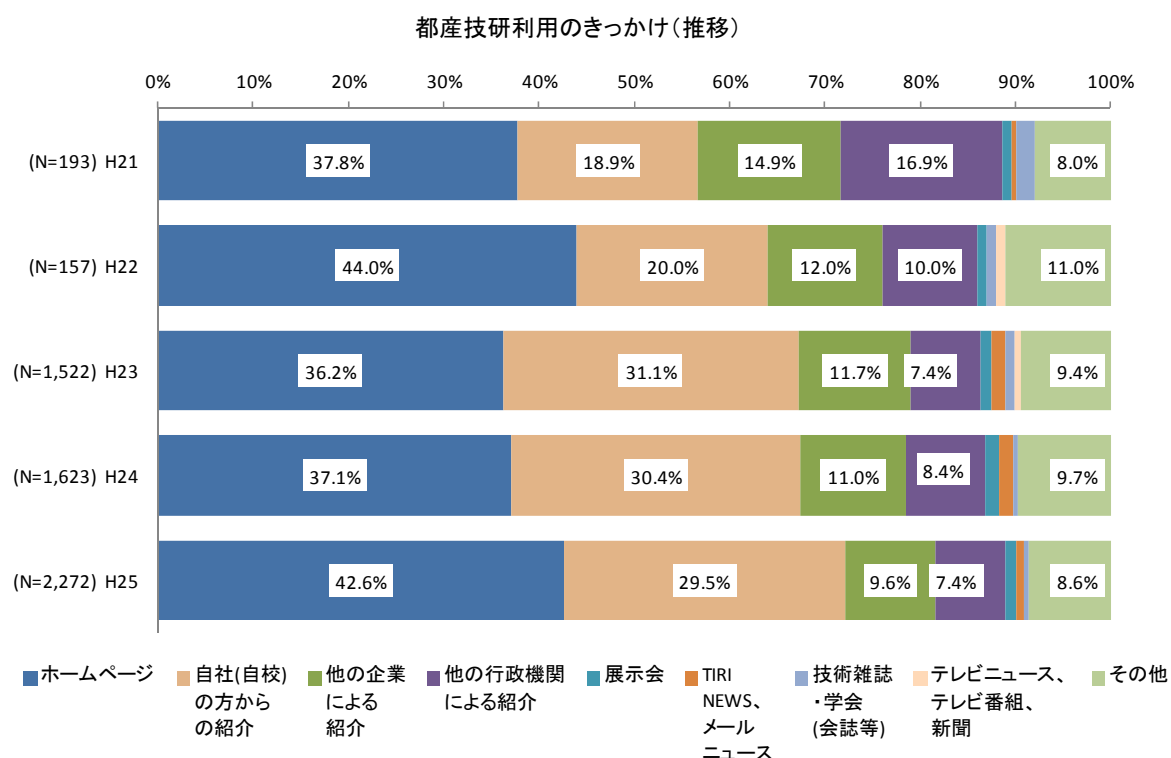
2.1 都産技研利用のきっかけ

都産技研を利用したきっかけをみると、「ホームページ」（967件、42.6%）、「自社（自校）の方からの紹介」（671件、29.5%）が多く、この2つで全体の7割以上を占めている。また、「その他」の回答が195件あるが、そのうち「以前から利用している」という旨の回答が、82件と多くなっている。

回 答	件数	割合
ホームページ	967	42.6%
自社（自校）の方からの紹介	671	29.5%
他の企業による紹介	217	9.6%
他の行政機関による紹介	167	7.4%
展示会	25	1.1%
TIRI NEWS、メールニュース	19	0.8%
技術雑誌・学会（会誌等）	11	0.5%
テレビニュース、テレビ番組、新聞	0	0%
その他	195	8.6%
合 計	2,272	100%

・「以前から利用している」: 82件
 ・「知人(上司・同僚)の紹介」: 30件
 ・「技術相談、工業技術情報センターetc.からの紹介」: 18件

経年推移をみると、平成23年以降「自社(自校)からの紹介」や「他企業による紹介」はやや減少傾向にあり、かわって「ホームページ」がやや増加傾向にある。



2.2 情報提供について

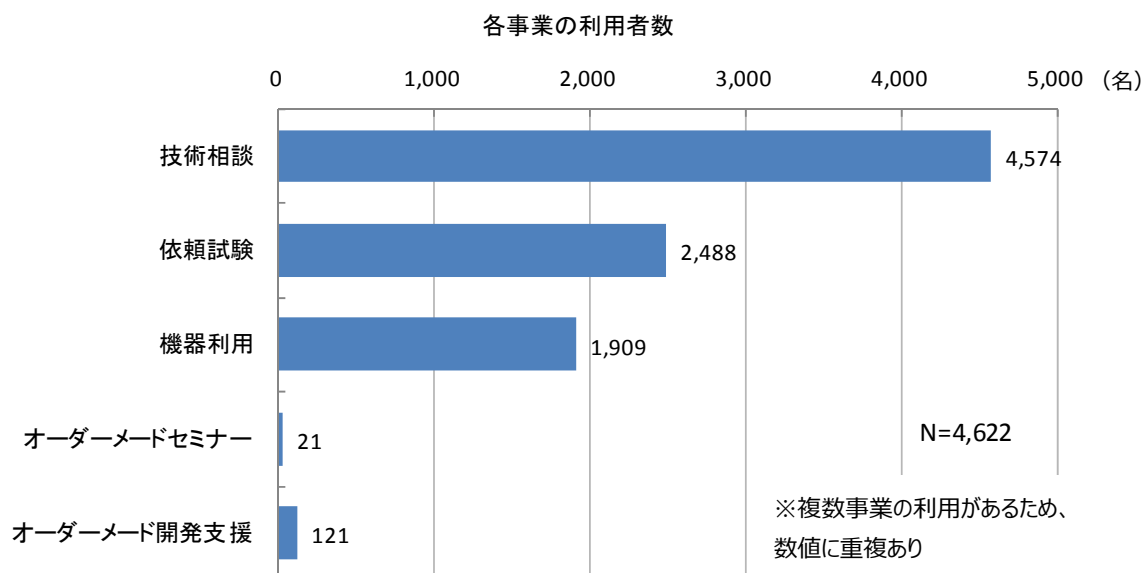
都産技研のホームページやメールニュースに対しては、304 件の有効なコメントをいただいた。内容としては、メールニュースについては「講習会、イベント案内が役立っている」「メールニュースの配信が有意義」といった意見が多く、ホームページについては、「わかりやすい」という意見がある一方、「設備、機器の機種・型名を記載してほしい」「ホームページの 1 ページの情報量が多過ぎる」といった意見も見られた。

情報提供についての要望コメント(一部抜粋)

- 講習会、イベント案内が役立っている。
- 利用機器一覧のページと利用料金、設置場所が別のページなので一緒になればさがしやすい。
- 利用可能な設備、機器の機種・型名を記載してほしい。
- 使用できる機器の一覧にたどりつきにくい。
- 試験機、電波暗室の予約状況も確認できるようにしてほしい。
- ホームページの 1 ページの情報量が多過ぎる。
- メールニュースの配信が有意義。
- メールニュースでセミナー案内などの情報を得ることができ、助かっている。

2.3 都産技研の利用実態について

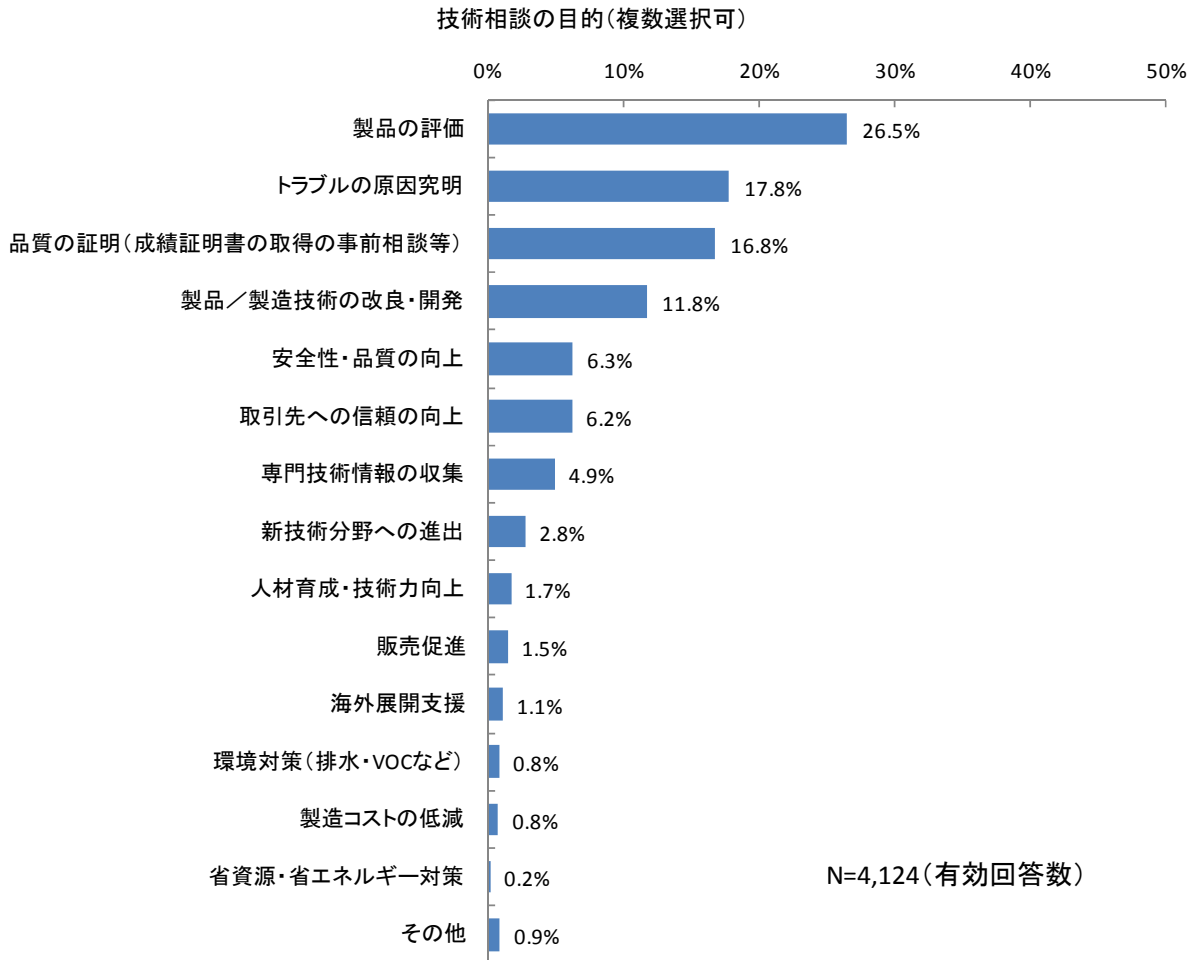
本アンケートの対象者である4,622名における平成25年に利用した都産技研利用事業の内訳は、「技術相談」が4,574名、「依頼試験」が2,488名、「機器利用」が1,909名、「オーダーメイドセミナー」が21名、「オーダーメイド開発支援」が121名であった。



2.3.1 技術相談

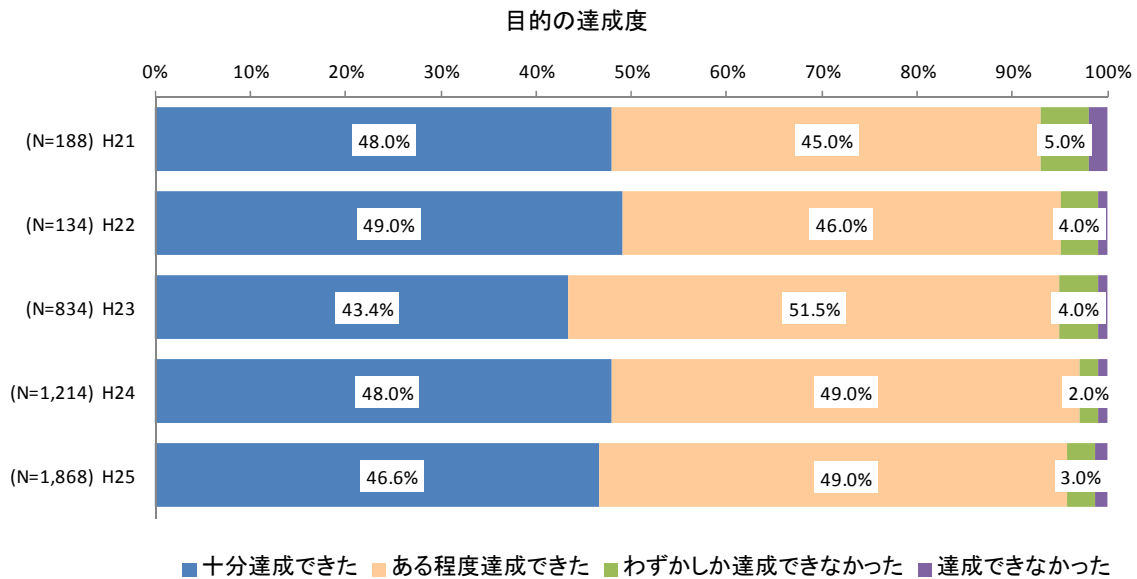
本設問では、「技術相談」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

技術相談の利用目的としては、「製品評価」(26.5%)が最も多く、次いで「トラブルの原因究明」(17.8%)、「品質の証明(成績証明書の取得の事前相談等)」(16.8%)とつづく。

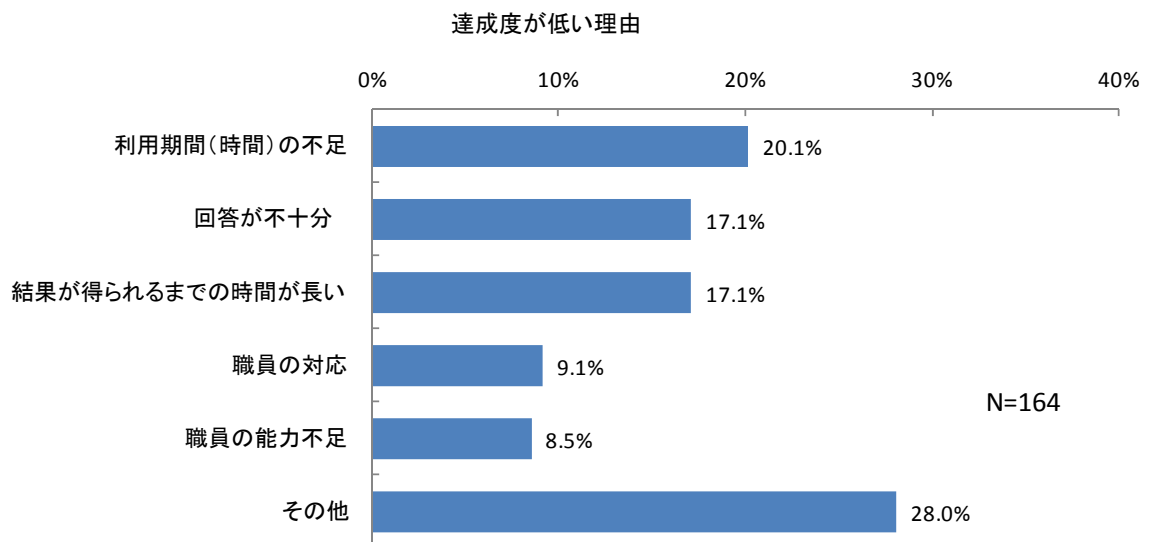


- 「その他」の記入例
- CE マーク取得の事前相談
 - 機器の測定依頼
 - 分析手法の相談
 - 評価試験の方法について
 - 特許対策
 - 3D造形

技術相談の目的達成度は、「十分達成できた」が 46.6%、「ある程度達成できた」が 49.0%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の 95%以上を占めている。
 経年推移をみても、特に大きな変化は見られない。



目的達成度が「わずかしか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「利用期間（時間）の不足」（20.1%）、「回答が不十分」（17.1%）、「結果が得られるまでの時間が長い」（17.1%）が多くなっている。

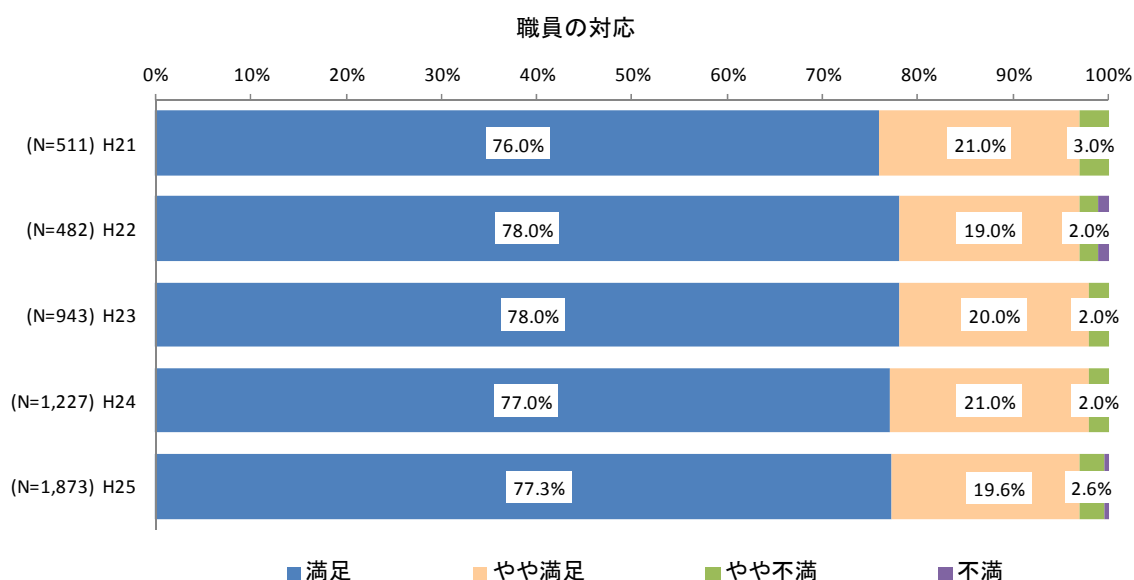


具体的な成果については、240件の有効なコメントをいただいた。「不具合の原因追求につながった」「アドバイスが役に立った」などがあげられる。

- 技術相談利用による成果コメント(一部抜粋)**
- トラブルの原因追求の手順が明確になった。
 - 評価用工具の仕様などにアドバイスを頂き改善できました。
 - 希望する評価内容が、貴センターにて対応可能か短時間で回答頂きました。
 - 取引先からの質問に答えられず困っていましたが、相談後に回答することができました。
 - 技術相談時のアドバイスを基に改善品を製造。好結果につながりました。

技術相談の職員の対応をみると、「満足」が77.3%、「やや満足」が19.6%と、合計した約97%が満足と答えている。

経年推移をみても、ほぼ同様の傾向である。



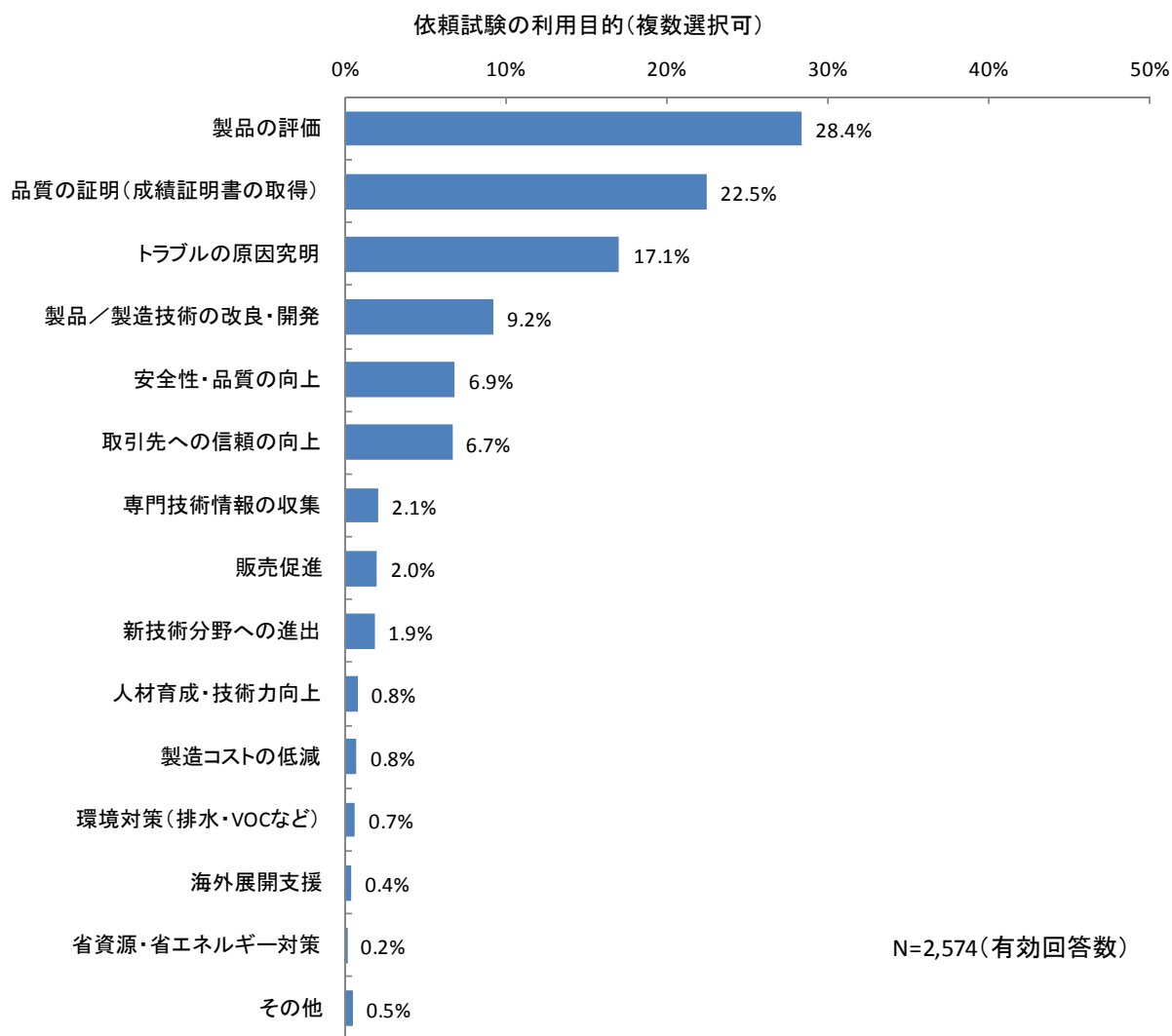
技術相談のサービスに対する意見では、180件の有効なコメントをいただいた。アドバイスが参考になったという意見が多いが、さらに深めた相談を行う場合に「前回の担当の人に相談できない」「対応する人によって、知識に差がある」などという意見も見られた。

- 技術相談利用についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 公的機関のアドバイスは、顧客にも受け入れてもらいやすく、助かっている。
 - 専門家の的確なアドバイスとても参考になった。
 - 技術相談できる日や時間帯を明確にして欲しい。他の業務で前回の担当の人に相談できない場合がある。
 - 対応いただける人によって技術力知識にかなりの差がありました。

2.3.2 依頼試験

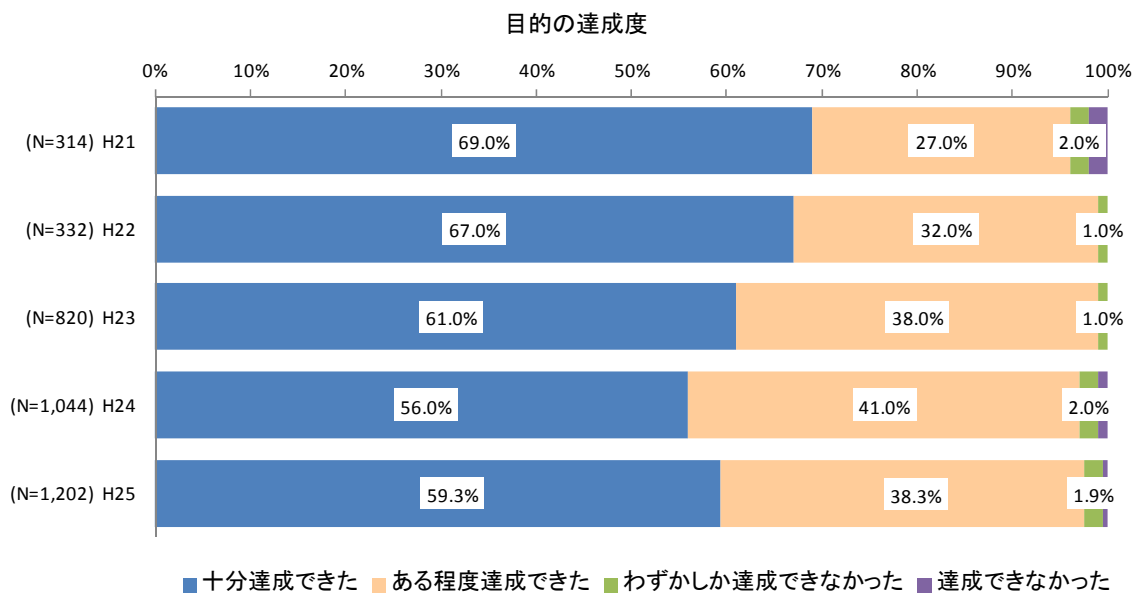
本設問では、「依頼試験」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

依頼試験の利用目的としては、「製品の評価」(28.4%)が最も多く、次いで「品質の証明(成績証明書の取得)」(22.5%)、「トラブルの原因究明」(17.1%)とつづく。

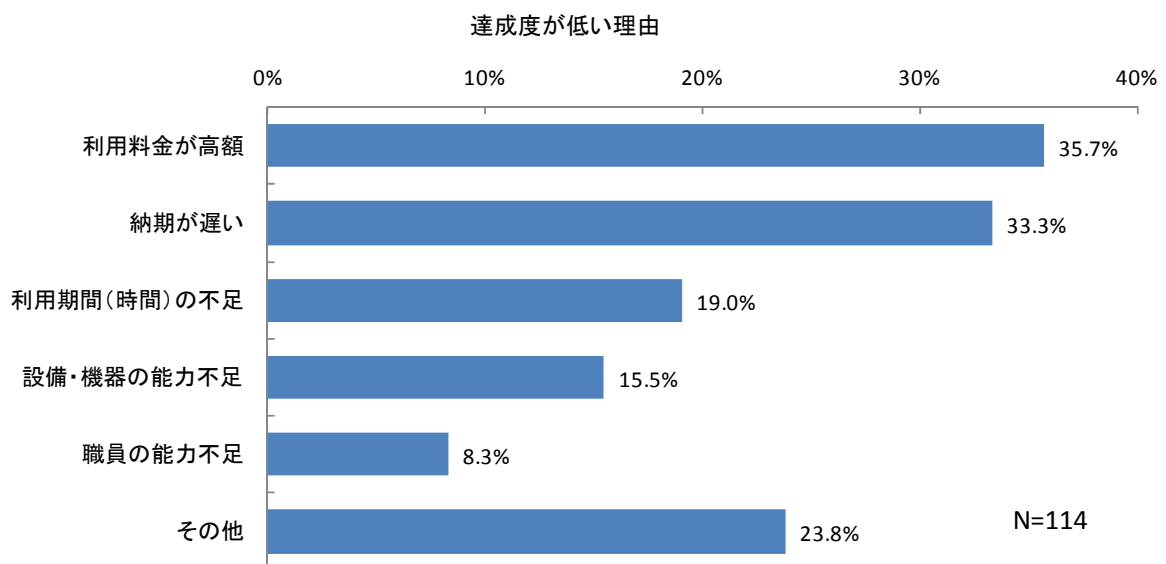


依頼試験の目的達成度は、「十分達成できた」が 59.3%、「ある程度達成できた」が 38.3%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の約 98%を占めている。

経年推移をみると、平成 24 年までは「十分達成できた」が減少傾向にあったものの、平成 25 年はやや増加に転じた。



目的達成度が「わずかしか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「利用料金が高額」(35.7%)、「納期が遅い」(33.3%)が多くなっている。

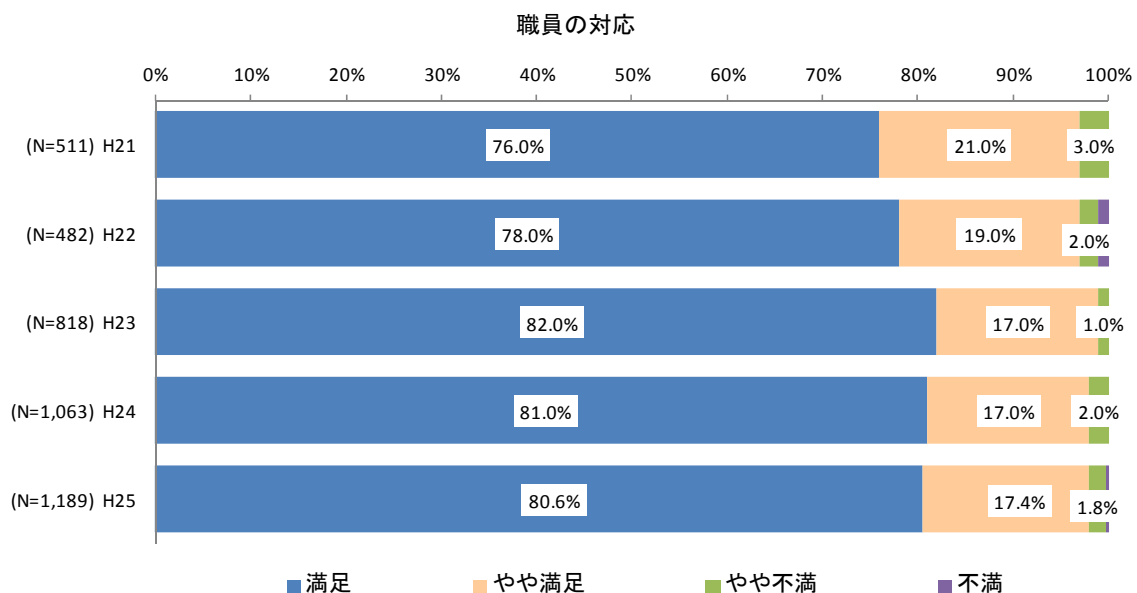


具体的な成果については、151件の有効なコメントをいただいた。「製品の不具合の原因がわかった」「製品の信頼性が向上した」などの意見が見られた。

- 依頼試験による成果コメント(一部抜粋)**
- トラブルの原因となっている物質を特定できた。
 - 試験結果の信頼性が高く、顧客への商品説明が容易であった。
 - 製品の問題や改善点を知ることができた。
 - 不具合対策の検証ができた。

依頼試験の職員の対応をみると、「満足」が80.6%、「やや満足」が17.4%と、合計した約98%が満足と答えている。

経年推移をみても、ほぼ同様の傾向である。



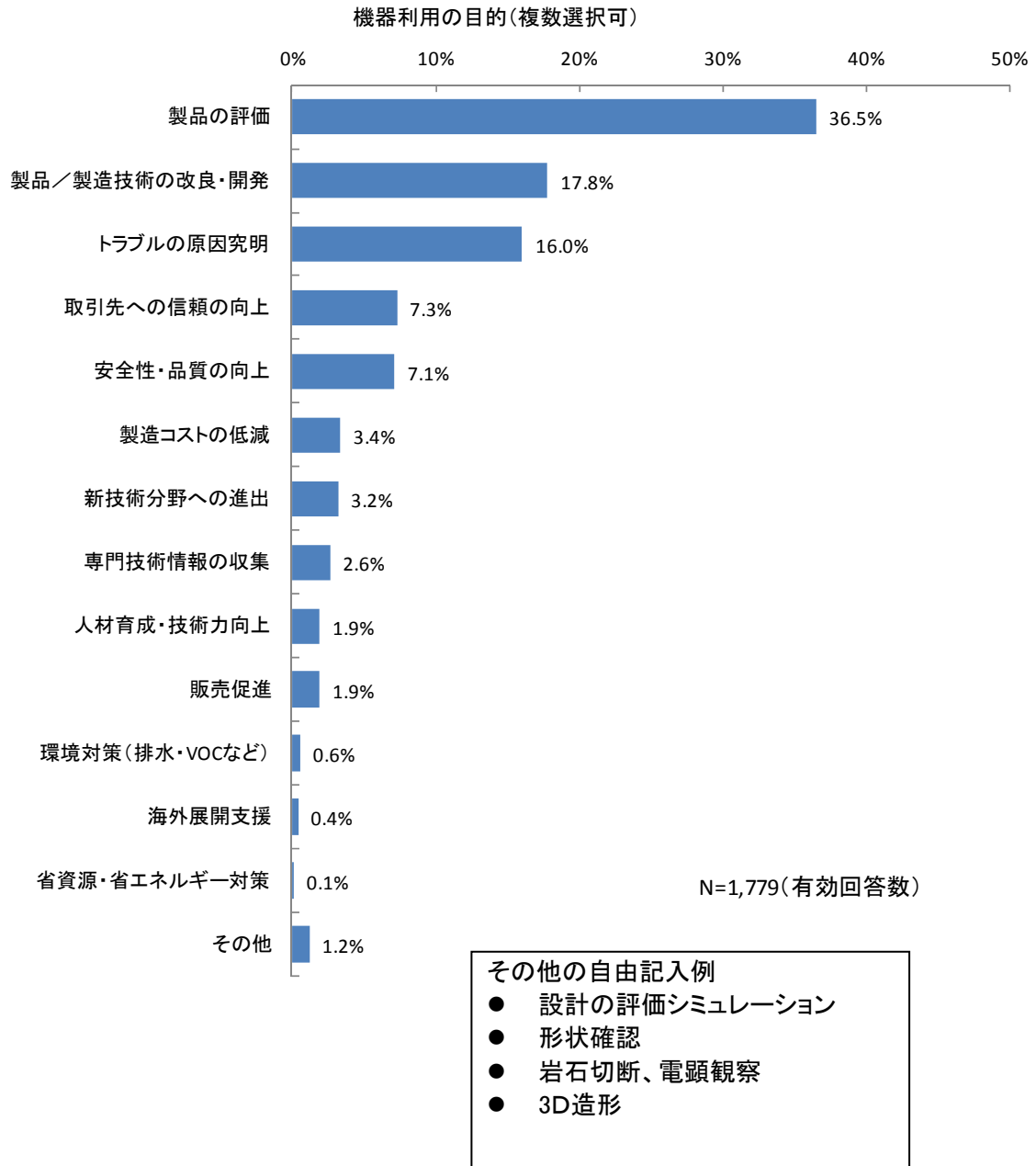
依頼試験のサービスに対する意見では、138件の有効なコメントをいただいた。職員の丁寧な対応等に対する感謝等の意見が多く見られた。

- 依頼試験についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 問題等があったとき、職員のもっている知識やアドバイスをもらえた。
 - 理解はしているが、納期がもっと短くなると更に良い。(製品トラブルの場合、先方からもすぐの回答を要求されるため)
 - 専門機関に依頼するよりも、圧倒的に期間が短く、コスト削減により非常に助かった。
 - 相談をしたうえで依頼できており、非常に助かっている。

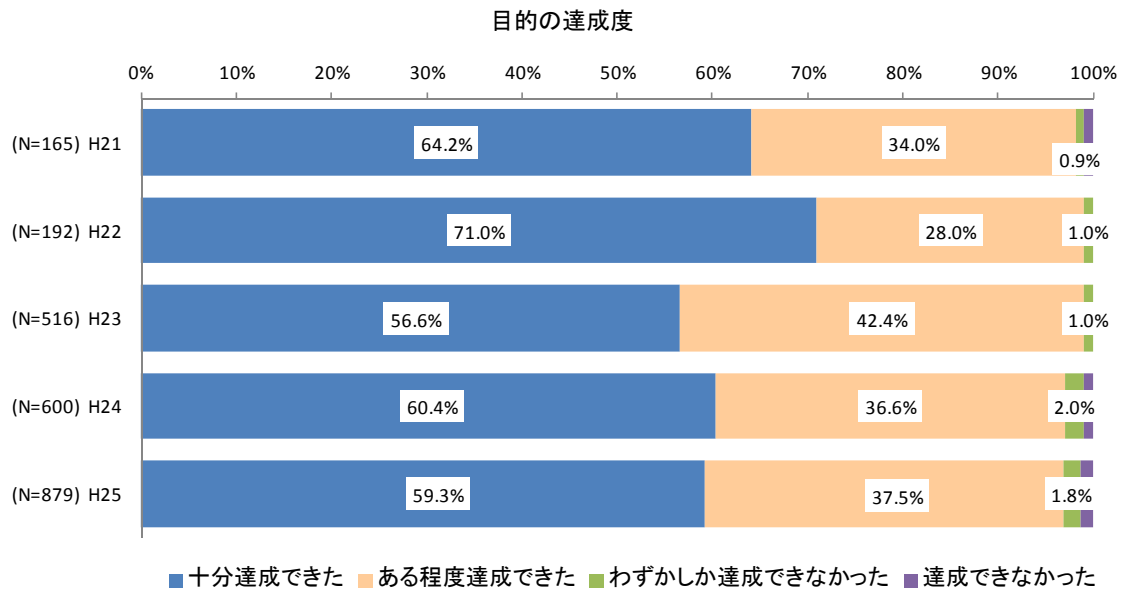
2.3.3 機器利用

本設問では、「機器利用」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

機器利用の利用目的としては、「製品の評価」(36.5%)が特に多く、次いで「製品／製造技術の改良・開発」(17.8%)、「トラブルの原因究明」(16.0%)とつづく。

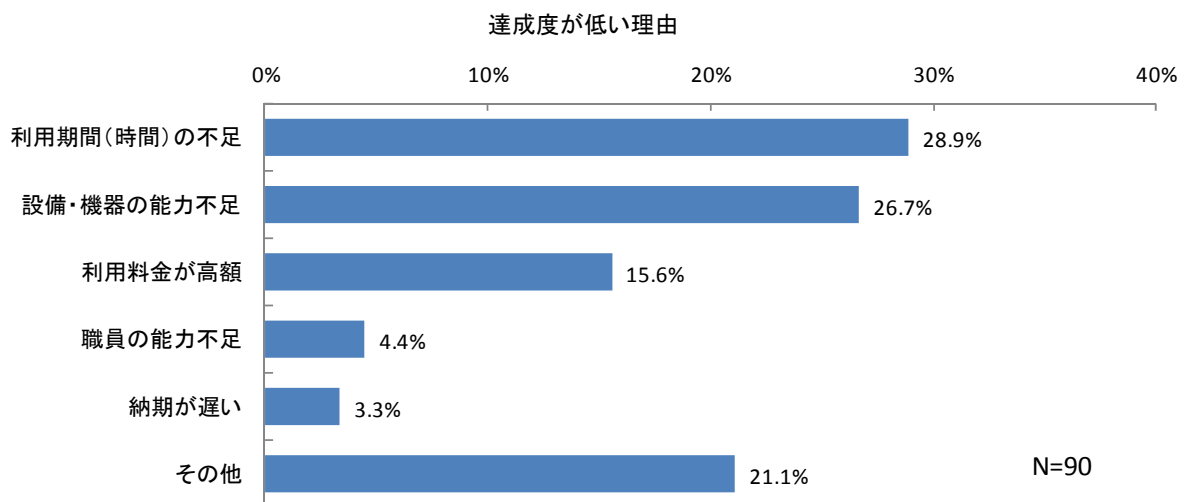


機器利用の目的達成度は、「十分達成できた」が 59.3%、「ある程度達成できた」が 37.5%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の 95%以上を占めている。
 経年推移をみても、平成 23 年以降は、特に大きな変化は見られない。



目的達成度が「わずかしかが達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「利用期間（時間）の不足」（28.9%）、「設備・機器の能力不足」（26.7%）が多くなっている。

「設備・機器の能力不足」が比較的多くなっている点が特徴である。

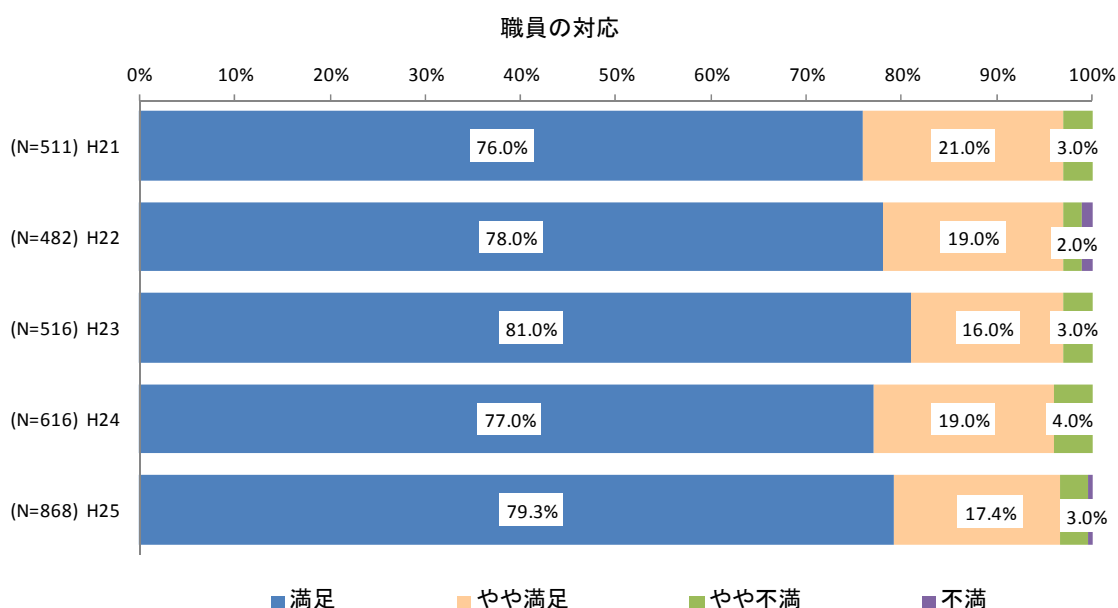


具体的な成果については、114件の有効なコメントをいただいた。「時間短縮が図れた」「試作モデル製作ができた」などの意見が見られた。

- 機器利用による成果コメント(一部抜粋)**
- 機器利用により開発品の性能改善とリードタイム削減を図れた。
 - トラブルの原因究明が出来た。
 - 開発品の試作モデル製作に役立った。
 - 自社で不可能な試験が出来るので、新規開発ができた。
 - 製品品質の向上と保証によりお客様からの信頼を得た。
 - 不具合原因の特定により品質が向上した。

機器利用の職員の対応をみると、「満足」が79.3%、「やや満足」が17.4%と、合計した約97%が満足と答えている。

経年推移をみても、ほぼ同様の傾向である。



機器利用のサービスに対する意見では、107件の有効なコメントをいただいた。機器利用ができる日時がホームページから確認できるようにしてほしいといった意見が比較的多く見られた。

- 機器利用についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 機器利用時に簡易的なマニュアルがあると分かりやすい。
 - 機器利用の場合、インターネットより予約が出来なくとも、利用する機器の日時が空いているかが分かるだけでも助かる。
 - 職員の対応が良く、スムーズに製品の評価、確認をする事ができた。

2.3.4 オーダーメイドセミナー

本設問では、「オーダーメイドセミナー」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

オーダーメイドセミナーの利用目的については、16件の有効回答が得られ、「人材育成・技術力向上」(6件)、「専門技術情報の収集」(5件)が多かった。

オーダーメイドセミナー利用の目的(複数選択可)

回 答	件数
人材育成・技術力向上	6
専門技術情報の収集	5
製造コストの低減	1
新技術分野への進出	1
販売促進	1
その他	2
合 計	16

目的達成度については、有効な回答が得られなかった。

目的の達成度

回 答	件数
十分達成できた	0
ある程度達成できた	0
わずかしか達成できなかった	0
達成できなかった	0
合 計	0

職員の対応については、8件の有効回答が得られ、全てが「満足」となっている。

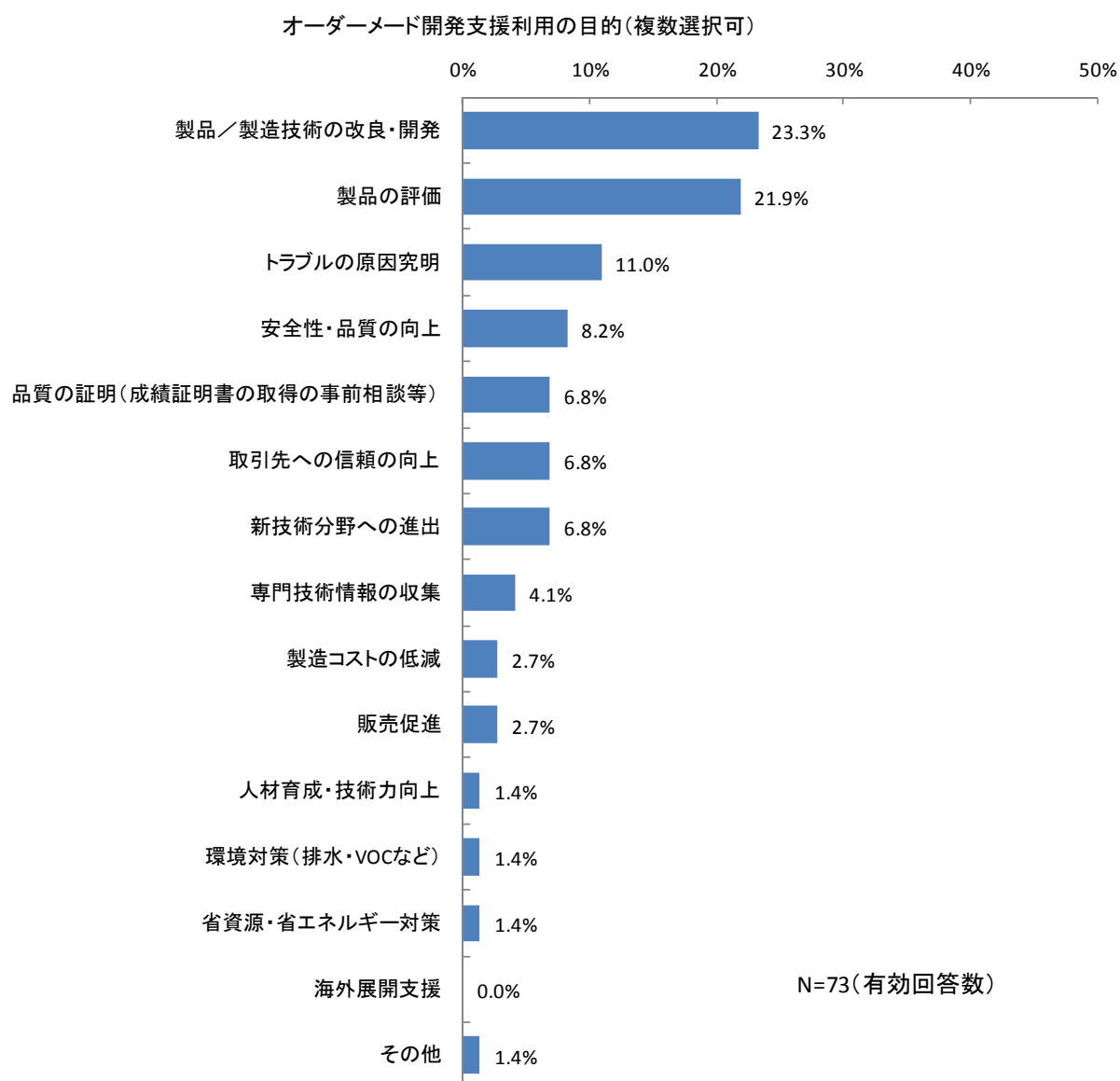
職員の対応

回 答	件数
満足	8
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
合 計	8

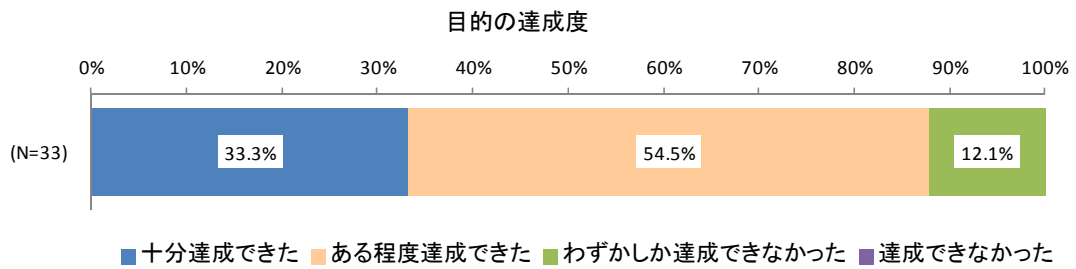
2.3.5 オーダーメイド開発支援

本設問では、「オーダーメイド開発支援」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

オーダーメイド開発支援の利用目的としては、「製品／製造技術の改良・開発」(23.3%)が最も多く、次いで「製品の評価」(21.9%)、「トラブルの原因究明」(11.0%)とつづく。



オーダーメイド開発支援の目的達成度は、「十分達成できた」が33.3%、「ある程度達成できた」が54.5%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の約88%を占めている。



目的達成度が「わずかしか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に達成度が低い理由を聞いたところ、「利用期間（時間）の不足」が全5件のうち3件を占めた。

達成度が低い理由

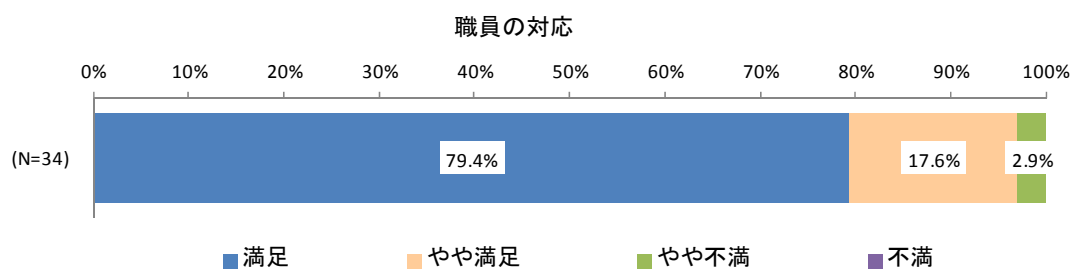
回 答	件数
利用期間（時間）の不足	3
職員の能力不足	1
結果が得られるまでの時間が長い	1
合 計	5

具体的な成果については、7件の意見をいただいた。主なものは以下のとおりである。

オーダーメイド開発支援利用による成果コメント(一部抜粋)

- コスト、材料選定、そしてその効果を含め、ベストのアドバイスをして頂き、本当に感謝している。
- EDSによる特定成分の偏在・凝集などの結果から、原料の混合方法の改善を行なった。まだ製品化までには至ってないが、着々と前進していると思う。一部は製品化している。

職員の対応をみると、「満足」が 79.4%、「やや満足」が 17.6%となり、合計した 97%が満足と答えている。



オーダーメイド開発支援のサービスに対する意見では、3 件の有効な意見をいただいた。

オーダーメイド開発支援についての意見・要望コメント(一部抜粋)

- 弊社の要求内容や納期を含め、満足しています。専門家の分析であるため非常に分かりやすい。
- 料金が高額の為十分な試験が出来ない。
- 材料開発は特異的分野なので、分析結果だけからアドバイスは難しい。知りたい要望を汲んで、適切な分析方法を提言してほしい。

2.3.6 利用状況まとめ

利用目的は、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」、「オーダーメイド開発支援」では、「製品の評価」、「トラブルの原因究明」が上位に入っている。

「オーダーメイドセミナー」では「人材育成・技術力向上」、「専門技術情報の収集」が上位となっている。（ただしサンプル数が異なるため一概には比較できない）

目的達成度は、「オーダーメイド開発支援」を除いて96%から100%の満足度（「十分達成」および「ある程度達成」となっている。「オーダーメイド開発支援」については88%である。

達成度が低い場合の理由としては、「利用期間（時間）の不足」が共通して挙げられている。

職員の対応は、全ての事業が97%から100%を達成している。

事業の比較まとめ

		技術相談	依頼試験	機器利用	オーダーメイドセミナー	オーダーメイド開発支援
利用目的 上位3項目		<ul style="list-style-type: none"> 製品の評価 トラブルの原因究明 品質の証明（成績証明書取得の事前相談等） 	<ul style="list-style-type: none"> 製品の評価 品質の証明（成績証明書の取得の事前相談等） トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> 製品の評価 製品／製造技術の改良・開発 トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成・技術力向上 専門技術情報の収集 	<ul style="list-style-type: none"> 製品／製造技術の改良・開発 製品の評価 トラブルの原因究明
目的達成度	十分達成+ある程度達成	96%	98%	97%	100%	88%
	わずかしか達成できない+達成できない	4%	2%	3%	0%	12%
達成度が低い場合の理由 上位3項目		N=164 <ul style="list-style-type: none"> 利用期間(時間)の不足 回答が不十分 結果が得られるまでの時間が長い 	N=114 <ul style="list-style-type: none"> 利用料金が高額 納期が遅い 利用期間(時間)の不足 	N=90 <ul style="list-style-type: none"> 利用期間(時間)の不足 設備・機器の能力不足 利用料金が高額 	-	N=5 <ul style="list-style-type: none"> 利用期間(時間)の不足 職員の能力不足 結果が得られるまでの時間が長い
職員の対応	満足+やや満足	97%	98%	97%	100%	97%
	やや不満+不満	3%	2%	3%	0%	3%

2.4 都産技研の利用による経済効果

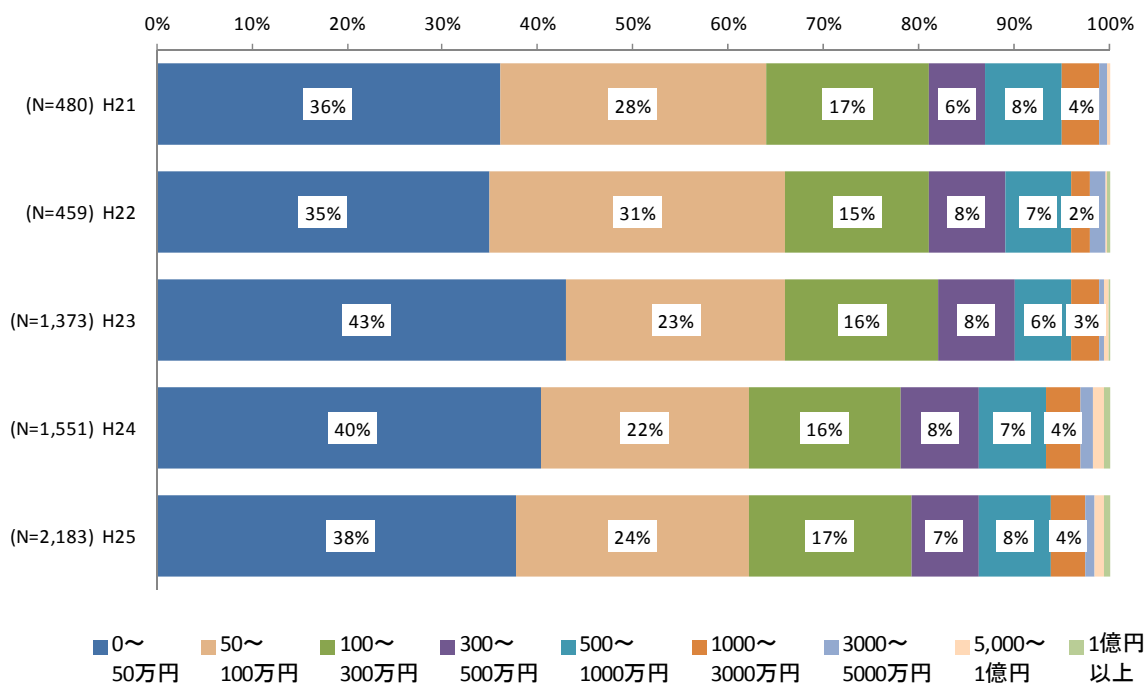
都産技研を利用したことにより生み出された経済効果（都産技研を利用することによって、企業等が得た効果を金額に換算した数値）の状況をみると、「50万円以下」への回答が最も多く、金額が上がるにつれて、回答件数は減少傾向にある。

経済効果額別件数及び割合

回 答	件 数	割 合
50万円以下	825	37.8%
50～100万円	531	24.3%
100～300万円	372	17.0%
300～500万円	156	7.1%
500～1,000万円	165	7.6%
1,000～3,000万円	79	3.6%
3,000～5,000万円	19	0.9%
5,000～1億円	23	1.1%
1億円以上	13	0.6%
合 計	2,183	100%

経年推移をみると、平成25年は、平成24年や23年と比較して「50万円以下」がやや減少している。かわって平成24年から3,000万円以上が若干増加している。

都産技研利用による得られた経済効果



次に、一企業あたりの経済効果を以下の試算によって算出した。

「0～50万円」への回答は 25万円	}	として、全体の加重平均を算出する
「50～100万円」への回答は 75万円		
「100～300万円」への回答は 200万円		
⋮		
「1億円以上」への回答は 1億円		

経済効果額の算出

回 答	平均金額	回答件数
0～50万円	25万円	825
50～100万円	75万円	531
100～300万円	200万円	372
300～500万円	400万円	156
500～1000万円	750万円	165
1000～3000万円	2,000万円	79
3000～5000万円	4,000万円	19
5,000～1億円	7,500万円	23
1億円以上	1億円	13
経済効果 総額 (2,183 件)	85 億 7,500 万円	
加重平均値	約 393 万円/企業	
利用企業全体での経済効果金額 (8,875 社)	約 349 億円	

経済効果総額 = (25万円×825件) + (75万円×531件) + (200万円×372件)
 + (400万円×156件) + (750万円×165件) + (2,000万円×79件)
 + (4,000万円×19件) + (7,500万円×23件) + (1億円×13件)
 = 85 億 7,500 万円

平均換算額 = 85 億 7,500 万円 ÷ 2,183 件
 = 約 393 万円/企業

利用企業全体での経済効果金額 = 393 万円 × 8,875 社 (*注)
 = 約 349 億円

(*注) 平成 25 年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの金額は約 393 万円となり、昨年結果 (416 万円/企業) よりもやや減少している。

また、経済効果の試算金額は、約 349 億円となり、昨年結果 (約 354 億円) とほぼ同様の結果となった。

次に、その経済効果が何によって生まれたのかという理由を尋ねたところ、633 件の有効回答（有効コメント）をいただいた。このコメントを 3 種類に分類し、それぞれの有効回答数を整理すると以下の表になる。

分類 A 「現在コストの削減」

他機関を利用した場合と比べた差額や、自社で実施した際の調達コストや実施コスト(時間や人件費)の削減効果を金額換算している

分類 B 「売上/利益の獲得」

都産技研を利用した結果として、製品の市場導入に繋がった/売上獲得につながった/新規販売ルートが作れた、等の理由を挙げている

分類 C 「将来メリットの獲得」

不具合解析による信頼性確保や問題点の早期発見、今後の製造過程立案、新たな部材購入など、直接的には金額メリットとならないが、将来的に発生するコスト削減や売上アップに寄与する理由を挙げている

経済効果額	経済効果額別分類別件数			合計
	A 現在コスト の削減	B 売上/利益 の獲得	C 将来メリッ トの獲得	
0~50万円	112	22	39	173
50~100万円	96	24	30	150
100~300万円	82	19	24	125
300~500万円	35	10	14	59
500~1,000万円	29	20	13	62
1,000~3,000万円	17	16	5	38
3,000~5,000万円	3	2	2	7
5,000~1億円	3	5	4	12
1億円以上	1	5	1	7
合計	378	123	132	633

分類 A~C それぞれにおける一企業あたりの金額換算額を、同様に加重平均によって算出した結果、以下のとおりとなった。

分類 A 「現在コストの削減」の経済効果額	=372 万円/企業
分類 B 「売上/利益の獲得」の経済効果額	=1,241 万円/企業
分類 C 「将来メリットの獲得」の経済効果額	=616 万円/企業

経済効果の理由(コメント・一部抜粋)

分類 A 「現在コストの削減」

- 試験機器の利用により機器レンタル+試験系構築作業のコスト削減が約 50 万円できた。
- 3D プリンター出力を業者に依頼すると形状にもよるが 1 回 50 万円くらいかかる。センターに依頼すると 2, 3 万円でできる。なので複数回、いろいろな商品で依頼ができ、開発の助けになる。
- 複数サンプルの絞り込みが定量的に判断でき、実機でのテスト時間を削減できた。

分類 B 「売上/利益の獲得」

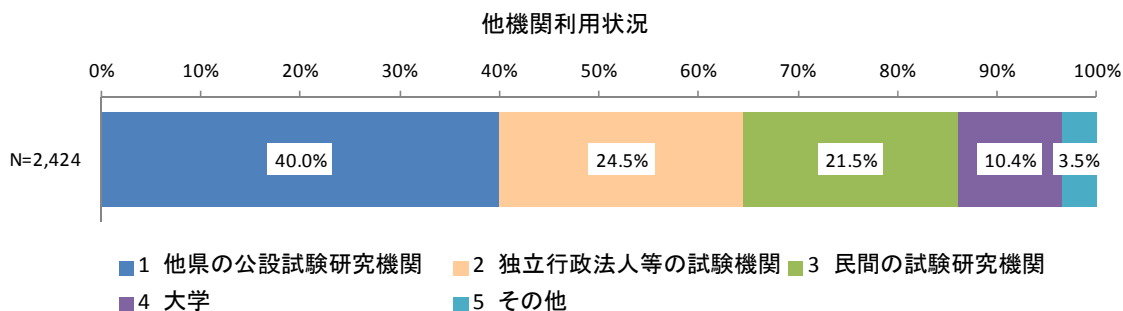
- デザインしていただいた製品は年間 500 万円の売上を上げている。
- CE マーキング自己認証に必要な検証データが得られることで、欧州への輸出が可能となり、拡販へつながった。
- 正式な発売の前に、商品の耐用能力を確認でき、販売へのアピールにつながった。

分類 C 「将来メリットの獲得」

- 原理的には可能であろうと思われた放射線ブロック技術も計測をどうするかで頭をかかえていたが、鉛当量換算での計測が出来たおかげで製品化が可能となった。
- 海外での資材、原地調達に成功するかもしれない。原地での製造について可能性確認中。
- 試験依頼した結果で全て満足出来たわけではいが不適合の原因求明に対する、当社の姿勢は評価頂けた。

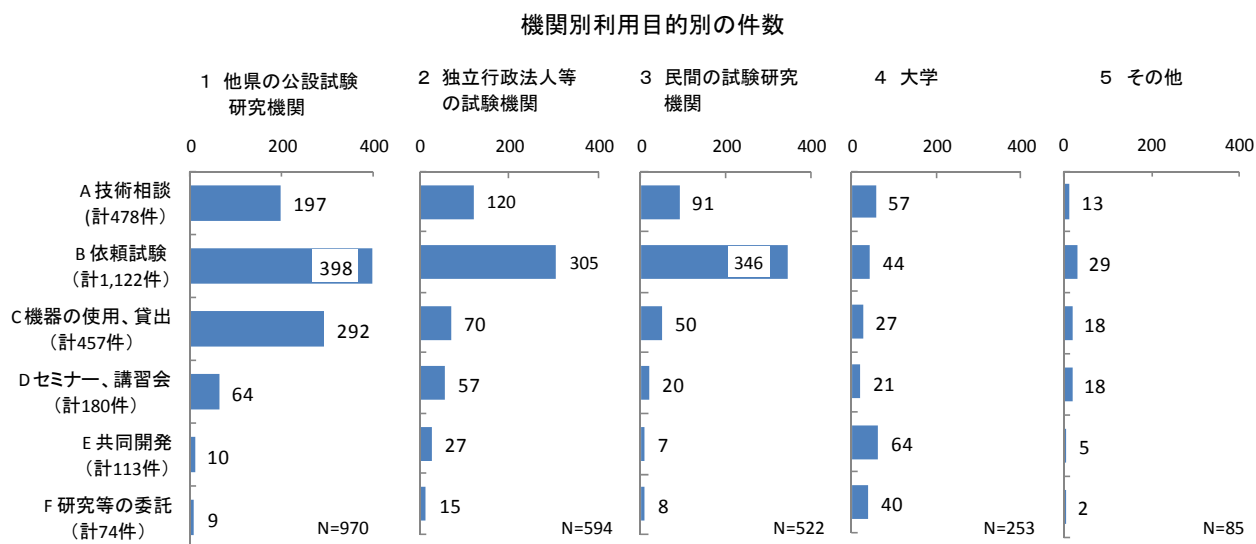
2.5 他機関の利用状況

他機関の利用状況に関する設問では、2,424 件の有効回答をいただいた。その結果、過去 1 年間で「他県の公設試験研究機関」を利用した人が 40.0% (970 件) と最も多く、次いで「独立行政法人・財団法人等の試験機関」24.5% (594 件)、「民間の試験研究機関」21.5% (522 件) と続いている。



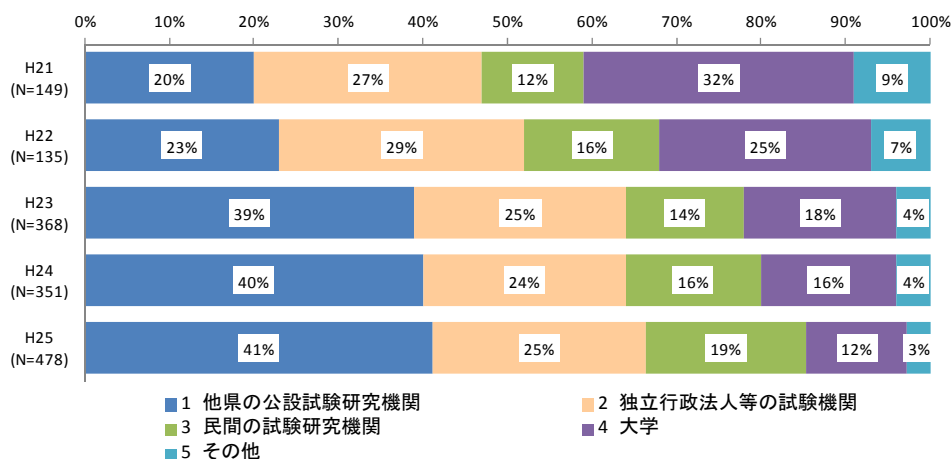
目的別にみると、「依頼試験」目的での他機関利用が 1,122 件と最も多く、「技術相談」(478 件)、「機器の使用、貸出」(457 件) と続いている。

機関と目的の両方でみると、「他県の試験研究機関」「独立行政法人・財団法人等の試験機関」「民間の試験研究機関」に対して、依頼試験にて利用する件数が多い。また、「他県の公設試験研究機関」では、「機器の使用、貸出」が比較的多いのが特徴である。

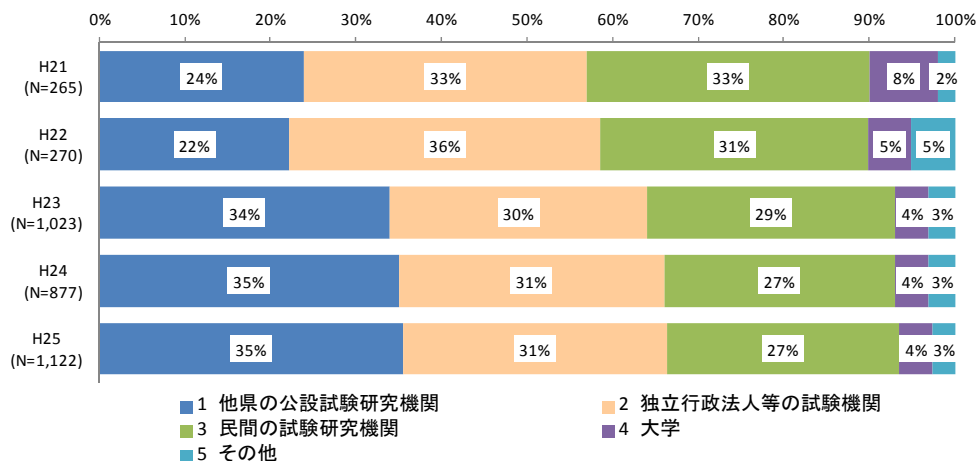


ここで、「技術相談」「依頼試験」「機器の使用、貸出」の3つの目的に絞り、それぞれの他機関の利用状況の割合の経年推移を見ると、「技術相談」では平成25年は「民間の試験研究機関」がやや増加傾向にあり、「大学」が減少傾向にある。「依頼試験」では近年同様の傾向である。「機器の使用、貸出」では平成23年以降「他県の公設試験研究機関」で減少傾向にある。

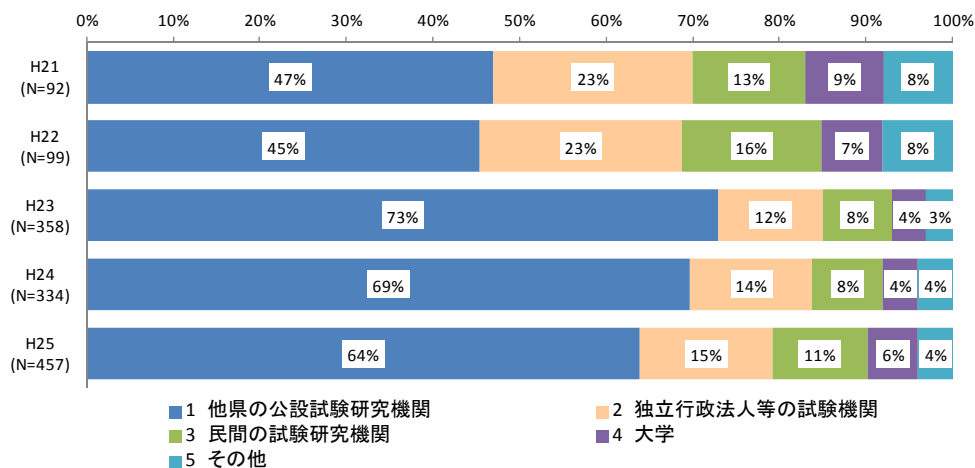
技術相談における他機関利用状況の推移



依頼試験における他機関利用状況の推移



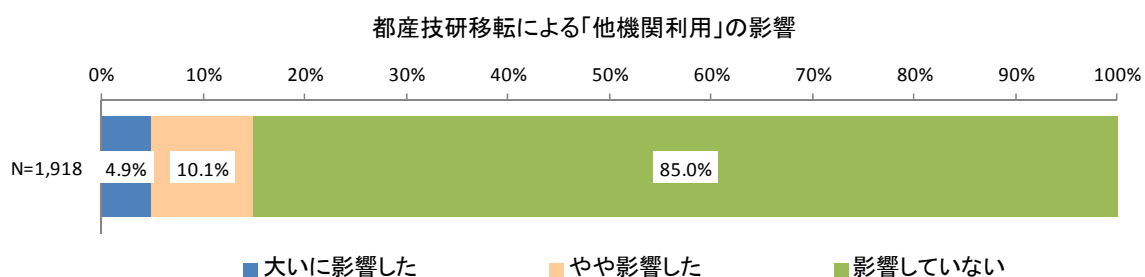
機器の使用、貸出における他機関利用状況の推移



他機関利用の具体的な理由については、936件の有効なコメントをいただいた。「料金が安い」「近い」「そこにしかない機器があるため」などが多く見られた。

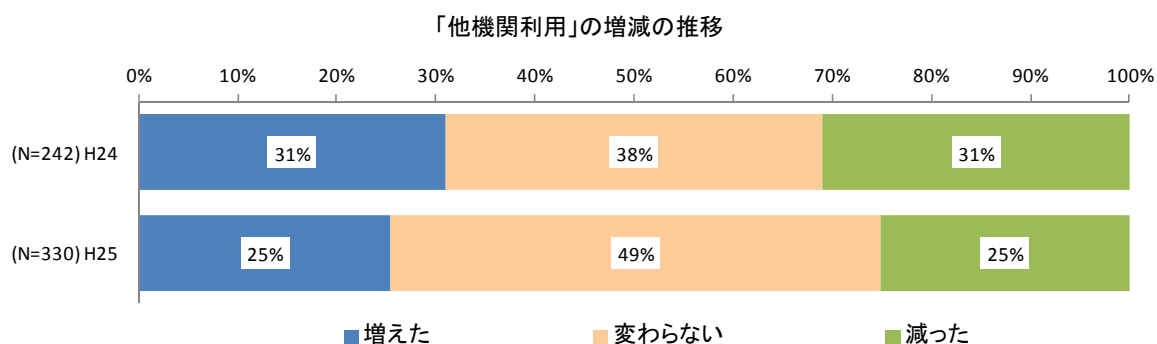
- 他機関利用の理由についてのコメント(一部抜粋)**
- 料金が安価である。
 - 会社から比較的近い。
 - 利用したい機器がある、そこしかない機器があるため。
 - 予約がいっぱいで、利用できなかった。認証機関の認定を受けたテストレポートが必要だったため。
 - 目的の測定を行ってくれたから。
 - 法規制の枠組みで定められた認証機関を、使用する必要があるため。
 - 納期対応が早かったため。
 - サンプルを取りに来てくれるので時間を有効に使えるため。

都産技研の事業所が移転したことによる影響については、「影響していない」が85.0%を占めている。



一方、「やや影響した」「大いに影響した」と回答した利用者の中で、それが他機関利用に影響したかどうかについては、「増えた」「減った」とともに25%、「変わらない」が49%であった。

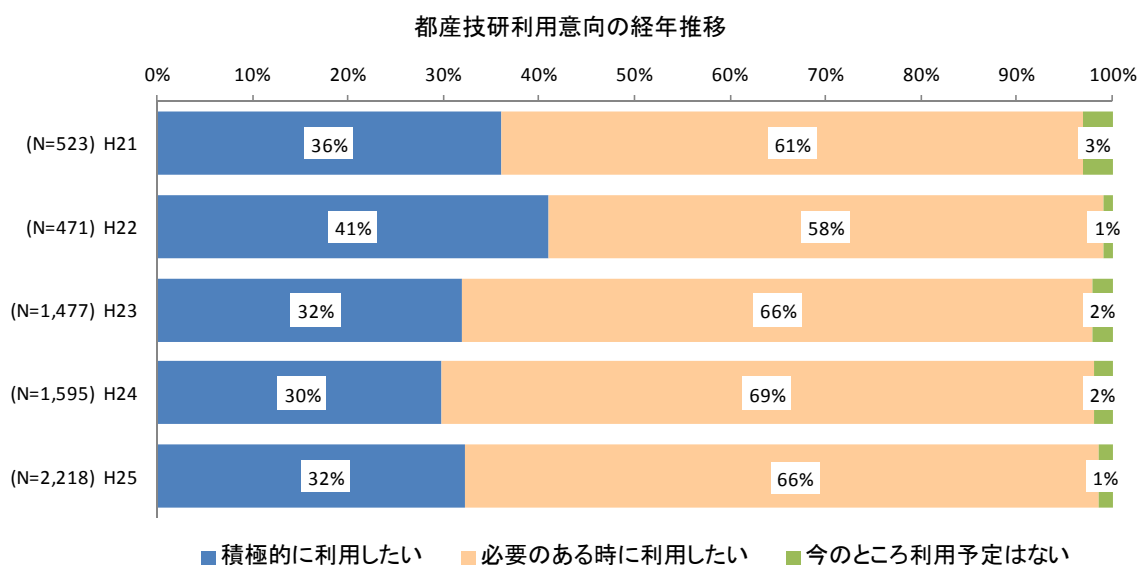
経年推移でみると、前回と比べ、「増えた」「減った」がやや減り、「変わらない」がやや増えている。



2.6 今後の利用意向及び要望

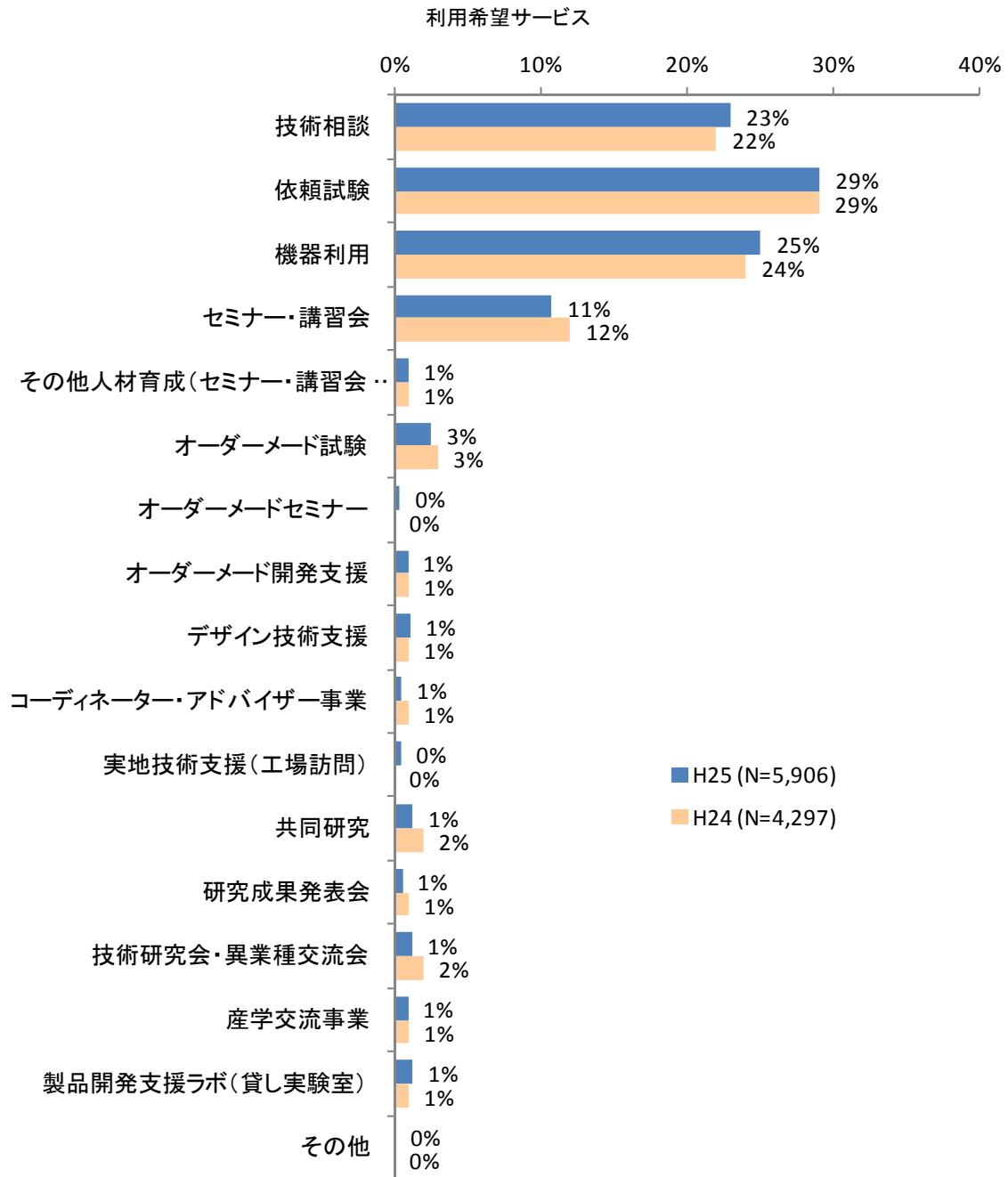
今後も都産技研を利用されるかどうかを尋ねたところ、「積極的に利用したい」が32%、「必要のある時に利用したい」が66%、「今のところ利用はない」が1%という結果であった。

経年推移をみると、平成23年以降は同様の傾向である。

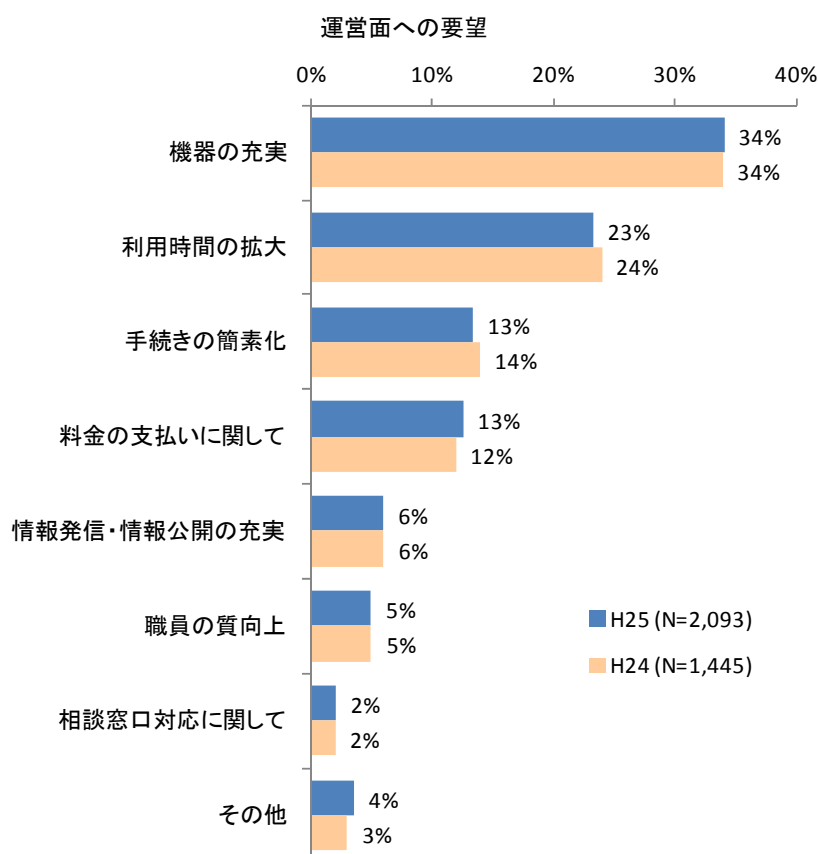


利用を希望する具体的な事業・サービスについて聞いたところ、技術相談が 23%、依頼試験が 29%、機器利用が 25%、セミナー・講習会が 11%となった。

昨年と比較するとほぼ同様の傾向となっている。



また、都産技研の運用面での要望では、「機器の充実」が 34%と最も多く、続いて「利用時間の拡大」(23%)、「手続きの簡素化」(13%)、「料金の支払いに関して」(13%)と続く。



運営面の要望については、478件の有効なコメントをいただいた。「利用時間をのばしてほしい」「支払方法を柔軟に対応してほしい」など、全般的に利用のしやすさへの意見が多い。

運営面への要望についての具体的なコメント(一部抜粋)

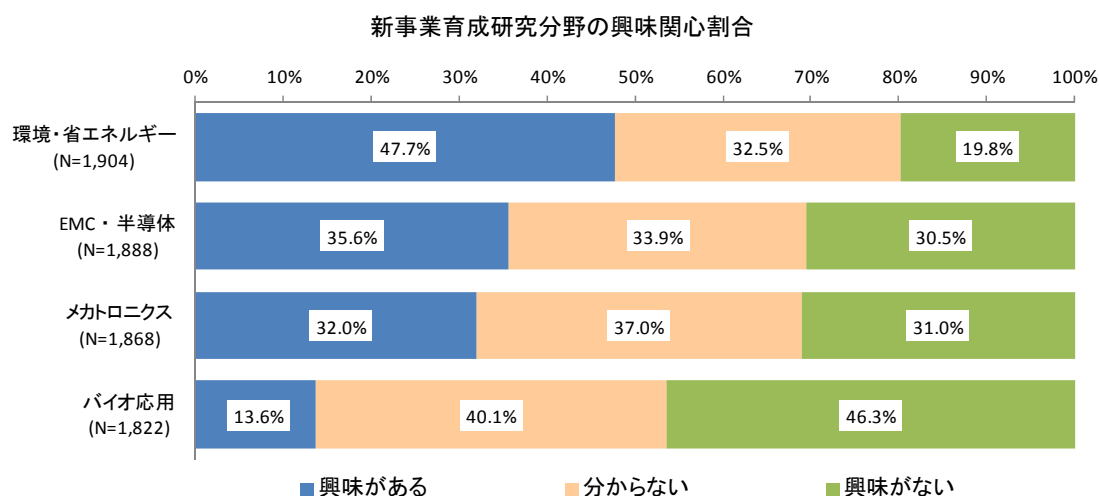
- 利用時間を伸ばして欲しい(試験時間を確保したい)。
- 口座振込み支払いに対応して欲しい。
- 支払い方法について様々な形態に対応してほしい。
- ホームページ上でもう少し、所有している機器について説明してほしい。
- 相談窓口の1本化。

2.7 興味や関心のある事業(サービス)・分野

本設問では、都産技研の16の事業、サービス分野への興味や関心を聞いた。各事業、サービス分野を「新事業育成研究分野」「都産技研重点分野」「ブランド試験」とカテゴリー分けした際に、それぞれの分野ごとの興味関心度の割合を確認してみる。

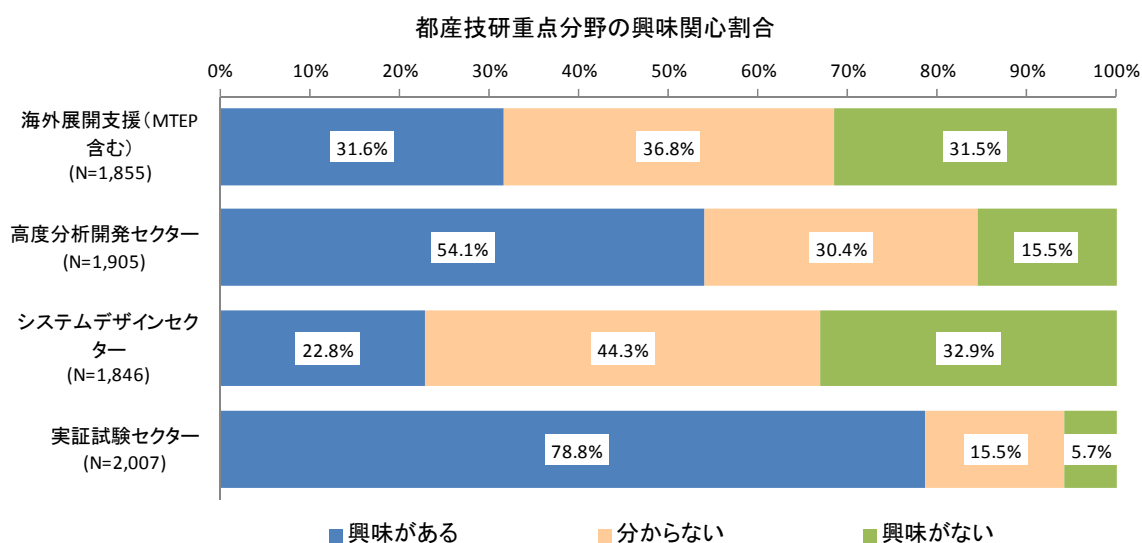
【新事業育成研究分野】

新事業育成研究分野の4分野においては、「環境・省エネルギー」に対して「興味がある」と回答した割合が47.7%と最も高くなっている。



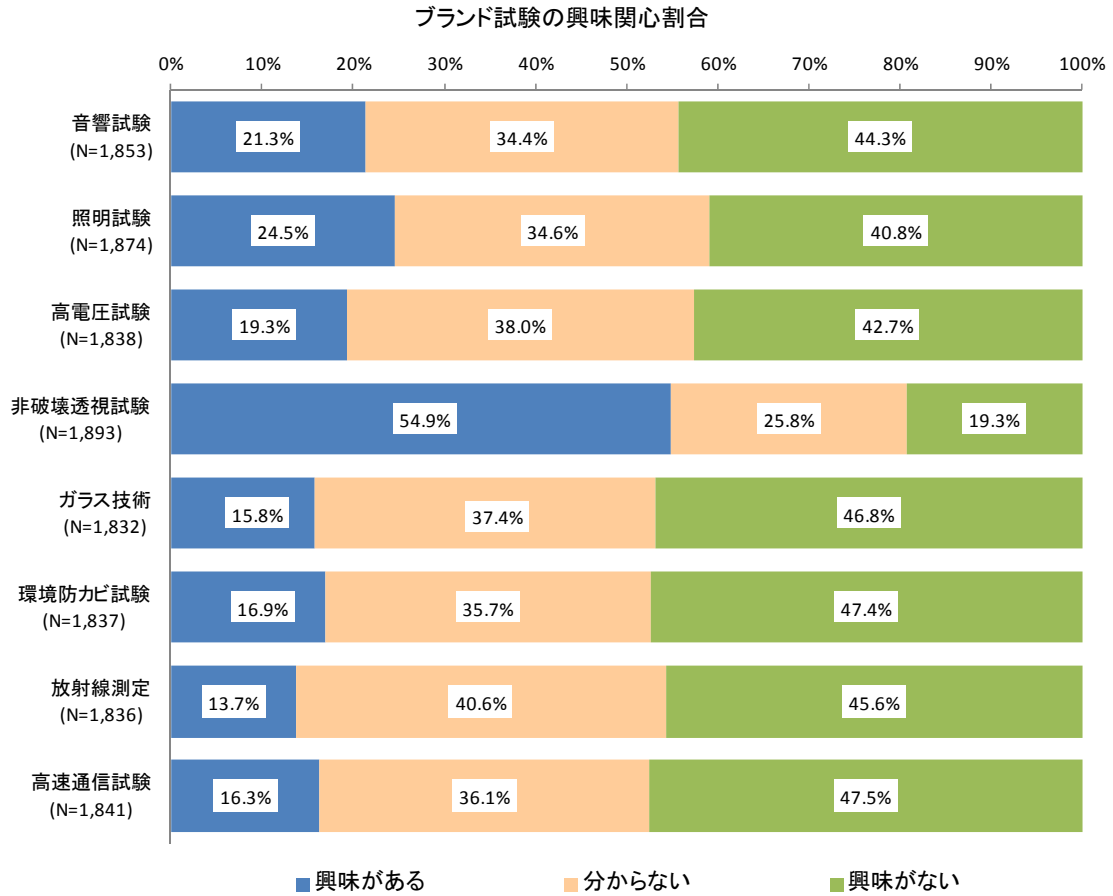
【都産技研重点分野】

都産技研重点分野においては、「実証試験セクター」に対して「興味がある」と回答した割合が78.8%と特に高くなっている。また、「高度分析開発セクター」も54.1%と比較的高くなっている。



【ブランド試験】

ブランド試験の8分野においては、「非破壊透視試験」に対して「興味がある」と回答した割合が54.9%と他と際立って高くなっている。

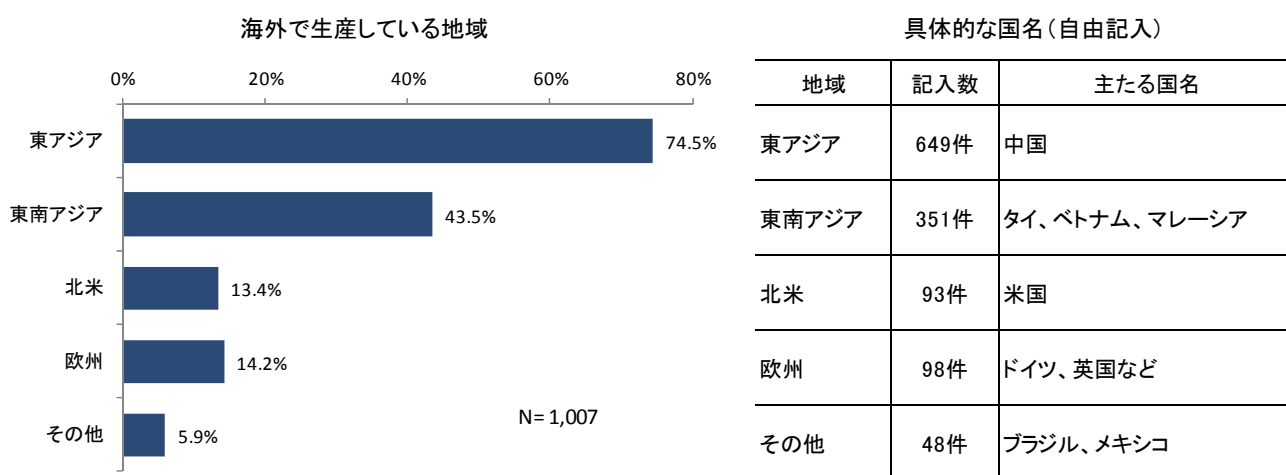


2.8 都産技研の海外展開サービス

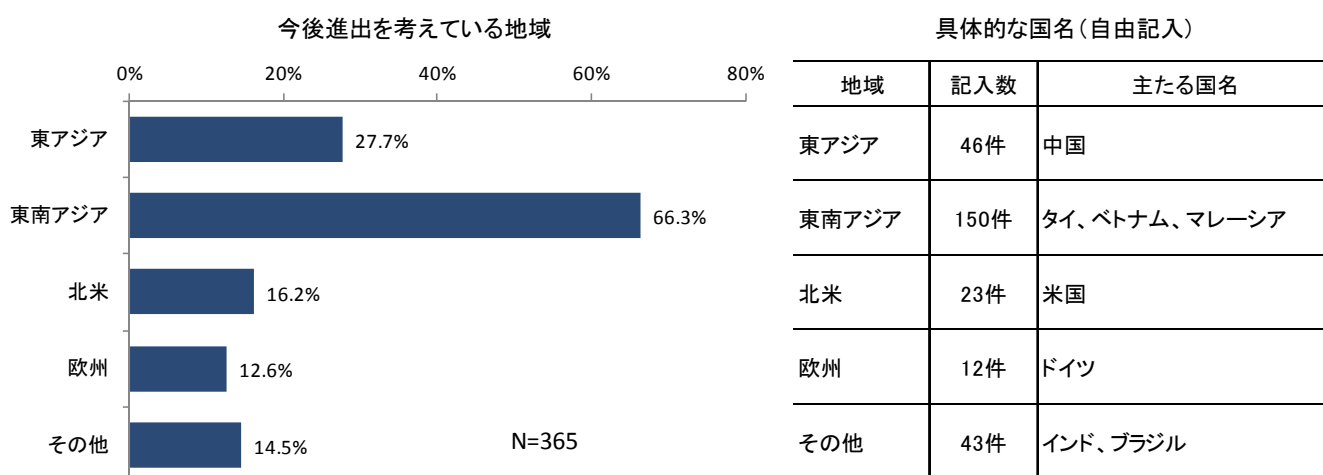
本設問では、各企業の海外展開の動向及び都産技研の海外における現地支援のニーズについて聞いた。

海外で生産している地域について 1,007 件、今後進出を考えている地域について 365 件の有効回答をいただいた。

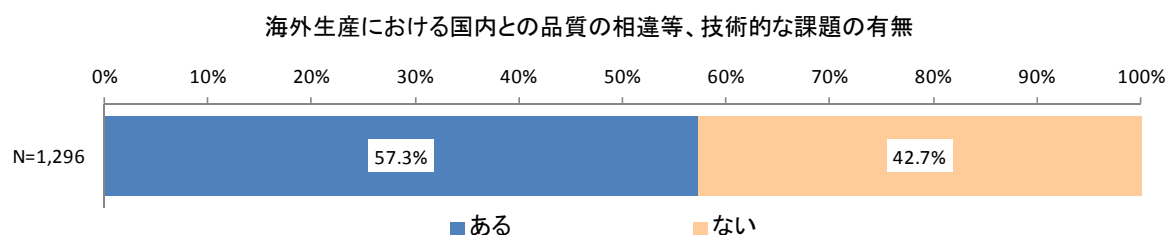
現在の海外での生産地域としては、東アジアが 74.5%と最も多く、次いで東南アジアの 43.5%と続いている。



一方、今後進出を考えている地域としては、東南アジアが 66.6%と最も多く、東アジアが 27.7%と続いている。



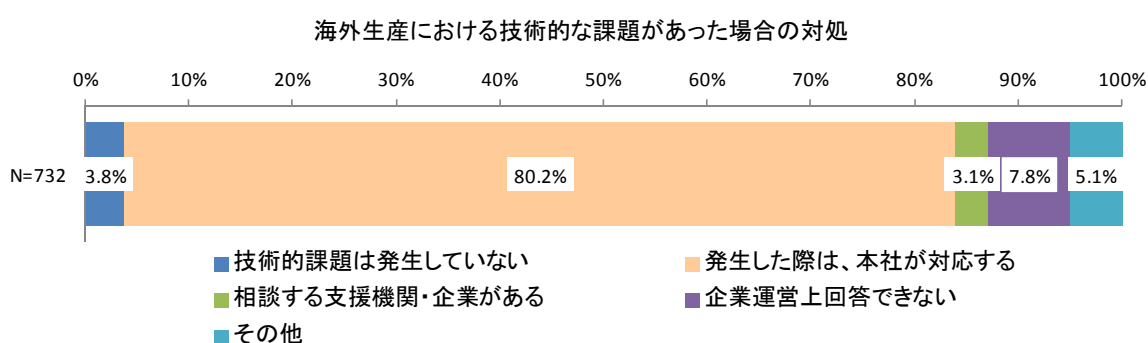
海外生産において、国内との品質の相違等、技術的な課題の有無を聞いたところ、「ある」が57.3%、「ない」が42.7%と、「ある」がやや高くなっている。



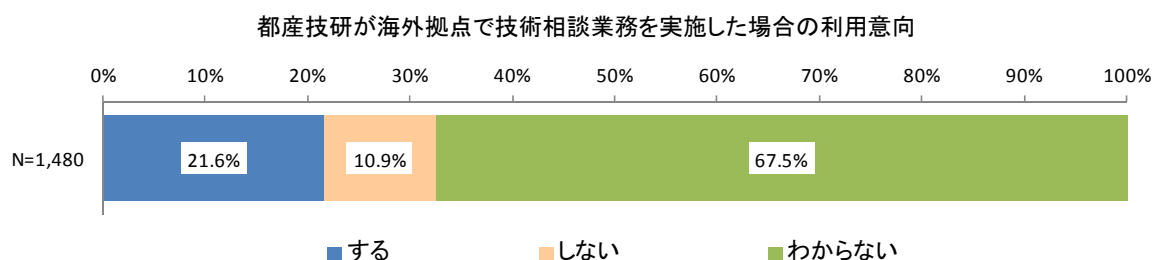
上記設問で「ある」と回答した方を対象に、具体的な技術的な課題の内容を聞いたところ、650件の有効なコメントをいただいた。内容としては、品質管理や品質確保に関するものが多い。

- 海外における技術的課題についてのコメント(一部抜粋)
- 品質の安定・品質に対する考えの違い、価値観の違い
 - 品質への意識相違
 - ロット毎の品質バラツキ
 - 製品生産技術の知識
 - 材料の信頼度
 - 技術の流出。人材の確保(技術習得するとすぐ辞める)

次に海外生産において、技術的な課題があった場合どのように対処しているかを聞いたところ、「本社が対応する」が80.2%を占めている。



都産技研が海外拠点で技術相談業務を実施した場合、利用するかどうかを聞いたところ、「わからない」が67.5%と最も多く、次いで「する」が21.6%、「しない」が10.9%であった。



都産技研の現地支援で、技術相談業務以外に希望するものがあるかを聞いたところ、82件の有効なコメントをいただいた。「依頼試験」「機器利用」が多く見られた。

現地支援で技術相談業務以外の希望する事業についてのコメント(一部抜粋)

- 依頼試験
- 機器利用
- 製造ノウハウ
- 製品の評価試験
- 企業マッチング相談
- 高品質なメーカーのあっせん、優良かつローコストな業者の紹介
- 化学物質使用の認定取得の支援など
- 客先との寸法の整合性の法方
- 材料分析

3. 総括

本調査では、ご利用者の皆さまから数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、課題を明確にしたうえで事業運営に反映させていきたいと考えています。以下では、今までの取り組みと今後の方向性についてまとめた内容をご報告いたします。

3.1 利用者からのご意見・ご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆さまのご意見・ご要望を分類し、以下の表にまとめました。

テーマ	項目	コメント（一部抜粋）
事業サービスの拡充に関すること	機器の充実 分野の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフサイエンス用の機器を増やしてほしい。 ● 中小企業では購入が難しい高額な測定装置を充実させてほしい。 ● 大型の試験機器（引っ張り、圧縮試験機）を導入してほしい。 ● 放射線の試験をさらに充実させてほしい。
	利用時間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器利用を 19 時程度に延長してほしい。 ● 清算手続きを 17 時以降も可能にしてほしい。 ● 土日の利用も可能にしてほしい。
	窓口サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体を見回せ、対応（測定）機器や技術を紹介してくれるようなスタッフが居てくれたらありがたい。 ● 専門員の分野が具体的に示されていると便利。 ● 総合窓口の人に詳しく説明した事が複数の担当の方に伝わっていない。担当の人とも打合を持たせてほしい。
既存事業サービスの効果的提供に関すること	納期（予約時間含む）	<ul style="list-style-type: none"> ● トラブル対応の分析依頼が多いので、より短納期を希望します。 ● 試験にかかる期間を短くできるよう、設備・人材を充実させてほしい。
	支払い方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人名義のカードで支払っても領収書のあて名を企業名で出してほしい。 ● 取扱いカード会社を増やしてほしい。 ● 月末締め翌月払い等の支払い手続きを認めてほしい。
	職員の能力・対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応者によって能力の差が大きすぎる。 ● 担当者不在時のフォロー（次担当者）での対応があると助かる。 ● 本部へ電話した後、何の説明もなしに支所へ転送されました。もう少し心遣いがほしかった。
	料金体系	<ul style="list-style-type: none"> ● 依頼試験について料金がわかりにくい。どの機器を用いたときにどのくらい費用が掛かるのかももう少し詳細がわかればと思う。 ● 長い時間をかけて行う試験があり、長時間になった場合の割引などあるとうれしい。
	情報授受・やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験体を郵送で依頼したい。 ● 依頼試験の結果は、紙でなく PDF での報告書を希望したい。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 英文の成績証明書を出してもらえるとより良い。 ● 有料でも良いので、技術的な解析または分析についてアドバイスがほしい。 ● 機器の混み具合がカレンダー等で分かるようにしてほしい。

3.2 今までの取り組みと今後の方向性について

「事業サービスの拡充に関すること」に関して、平成 25 年度は従来からご要望の多かった X 線透視 CT システムや 100 kN 精密万能試験機などの高額な試験機器を新規に導入し、利用者の製品開発支援を図ってまいりました。また、平成 25 年 10 月には墨田支所内に「生活技術開発セクター」を開設しました。日射環境試験装置など生活関連製品に求められる「製品性能」や「使いやすさ」の評価機能を充実させ、製品開発ができる機器を多数導入しました。来年度も多くの皆さまにご活用いただけるよう情報提供に努めてまいるとともに、ご要望を踏まえさらなる機器および試験の充実を図ってまいります。

「既存事業サービスの効果的提供に関すること」に関しては、平成 24 年度に開始したインターネット経由での予約申し込みが好評であることから、順次対象の機器を拡大しております。また、平成 24 年度に開設した「広域首都圏輸出製品技術支援センター」(MTEP) の本格稼働を受け、海外企画の充実や専門相談の拡充など、さらなる海外展開支援を検討してまいります。

多くのご利用者の皆さまからご意見をいただいた支払いに関しては、より簡素で便利な手続きに向けて引き続き検討を進めております。

今回皆さまから頂戴したご意見ご要望を真摯に受け止め、より一層のサービスの向上に努めてまいります。今後とも都産技研のご利用の程よろしく願いいたします。

参考資料

「平成 25 年 ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的、達成度、職員対応等に関して」(P.38～42)では、各種事業を利用された方のみを対象に、アンケート用紙を送付しています。

(例：平成 25 年に技術相談と依頼試験を利用された方には、P.40～42 のページは送付していません。)

《平成 25 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。
 選択肢がある設問では、該当する回答の □ 部にチェック (☑ など) を記入してください。

1. 都産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

利用のきっかけ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ホームページ
	2	<input type="checkbox"/>	展示会 ()
	3	<input type="checkbox"/>	TIRI NEWS、メールニュース
	4	<input type="checkbox"/>	他の行政機関による紹介
	5	<input type="checkbox"/>	他の企業による紹介
	6	<input type="checkbox"/>	自社 (自校) の方からの紹介
	7	<input type="checkbox"/>	技術雑誌・学会 (会誌等)
	8	<input type="checkbox"/>	テレビニュース、テレビ番組、新聞
	9	<input type="checkbox"/>	その他 ()

2. 情報提供についてお伺いします。

(1) ホームページ及びメールニュースに関してお答えください。

都産技研のホームページ ⇒⇒ <http://www.iri-tokyo.jp>

また、都産技研ではメールニュース (※) を随時配信しています。

※：内容は講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など

(A) ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

(B) メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

配信先メールアドレス	
------------	--

3. 産技研の利用実態についてお伺いします。

(1) ご利用の目的、達成度、職員対応等に関してお答えください。

ご利用事業 (サービス) : 技術相談

技術相談の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明 (成績証明書の取得の事前相談等)
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品/製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策 (排水・VOC など)
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他 ()
技術相談の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合 (3 又は 4 を選択した場合)、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	回答が不十分
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間 (時間) の不足
	3	<input type="checkbox"/>	結果が得られるまでの時間が長い
	4	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	5	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他 ()
また、具体的な成果 (派生を含めて、製品改良や事業化事例など) があれば、お聞かせください。			
技術相談時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

ご利用事業（サービス）：依頼試験

<p>依頼試験 の利用目的 【複数選択可】</p>	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
<p>依頼試験 の目的達成度 【1つだけ選択】</p>	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
<p>達成度が低いと感じ た場合（3又は4を選 択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】</p>	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
<p>また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。</p>			
<p>依頼試験時の 職員の対応 【1つだけ選択】</p>	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
<p>本サービスについて、ご意見・ご要 望などございましたら、お聞かせく ださい。</p>			

ご利用事業（サービス）：機器利用

機器利用 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
機器利用 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
機器利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

ご利用事業（サービス）：オーダーメイドセミナー

オーダーメイドセミナー の参加目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
オーダーメイドセミナー の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じ た場合（3又は4を選 択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	希望の内容との不一致
	2	<input type="checkbox"/>	講師の質
	3	<input type="checkbox"/>	日程・時間が不相当
	4	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	5	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。			
オーダーメイドセミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要 望などございましたら、お聞かせく ださい。			

※オーダーメイドセミナーとは、通常の講習会・セミナー等では適切な人材育成ができない場合など、お客様の
ご要望にお応えできるよう実施時期・内容をアレンジしたセミナーです。

ご利用事業（サービス）：**オーダーメイド開発支援**

オーダーメイド開発支援 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
オーダーメイド開発支援 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
オーダーメイド開発支援 時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※オーダーメイド開発支援とは、コンセプト立案・デザイン・設計・各種加工・試作・開発過程での性能評価等、通常の依頼試験や機器利用では対応がむずかしいニーズに対応した技術支援です。

(2) 都産技研ご利用による経済効果に関してお答えください。

(A) 都産技研のご利用により、あなたの会社（組織）が得られたと思われるメリットを、金額換算すると、次のいずれに相当しますか。


	0~50万円	-----	1	<input type="checkbox"/>
	50万~100万円程度	-----	2	<input type="checkbox"/>
	100万~300万円程度	-----	3	<input type="checkbox"/>
	300万~500万円程度	-----	4	<input type="checkbox"/>
	500万~1,000万円程度	-----	5	<input type="checkbox"/>
	1,000万~3,000万円程度	-----	6	<input type="checkbox"/>
	1,300万~5,000万円程度	-----	7	<input type="checkbox"/>
	5,000万~1億円程度	-----	8	<input type="checkbox"/>
	1億円以上	-----	9	<input type="checkbox"/>

1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください： _____ 億円くらい)


◆ 上記回答の考え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思われませんが、都産技研を利用されなかった場合と比較して、大まかに推定してください。例えば、次のようなストーリーを推定し、金額を選択してください。


依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。




試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



技術相談や講習会・技術セミナーにより、製品開発や規格対応における職員の知識・スキルが増加し、生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき、欠陥に起因する損失〇〇〇万円の支出を回避することができた。



(B) 可能であれば、上記ストーリーをご参考に、具体的経済効果理由をご記入ください。

(3) 他機関のご利用に関してお答えください。

(A) 都産技研以外の試験研究機関等を過去一年間で利用されたことはありますか。利用がございましたら、そのサービスの種類についてお答えください。

他機関の種類・名称 可能であれば、()内に名称をご記入ください。		利用した事業(サービス) 【複数選択可】						
		A	B	C	D	E	F	G
		技術相談	依頼試験	貸出し 機器の使用、 講習会	セミナー、	共同開発	研究等の委託	利用なし
1	他県の公設試験研究機関 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	独立行政法人・財団法人等の試験機関 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	民間の試験研究機関 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	大学 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	その他 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

以下は他機関をご利用された方のみご回答ください。

(B) 可能であれば、他機関利用の理由をご記入ください。

他機関利用の理由	
----------	--

(C) 都産技研の事業所(本部及び支所)の移転によって、他機関への利用は影響しましたか。

都産技研事業所移転による 「他機関利用」の影響 【それぞれ1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	大いに影響した	⇒	他機関利用の増減		
					ア	<input type="checkbox"/>	増えた
	2	<input type="checkbox"/>	やや影響した		イ	<input type="checkbox"/>	変わらない
					ウ	<input type="checkbox"/>	減った
	3	<input type="checkbox"/>	影響していない				

4. 興味関心やご要望についてお伺いします。

(1) 今後の利用意向や要望等に関してお答えください。

今後の利用意向 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	積極的に利用したい
	2	<input type="checkbox"/>	必要があれば利用したい
	3	<input type="checkbox"/>	今のところ今後の利用予定は無い

利用希望サービス【複数選択可】	
番号	
A1	<input type="checkbox"/> 技術相談
A2	<input type="checkbox"/> 依頼試験
A3	<input type="checkbox"/> 機器利用
A4	<input type="checkbox"/> セミナー・講習会
A5	<input type="checkbox"/> その他人材育成 (セミナー・講習会以外)
A6	<input type="checkbox"/> オーダーメイド試験
A7	<input type="checkbox"/> オーダーメイドセミナー
A8	<input type="checkbox"/> オーダーメイド開発支援
A9	<input type="checkbox"/> デザイン技術支援
A10	<input type="checkbox"/> コーディネーター・アドバイザー事業
A11	<input type="checkbox"/> 実地技術支援(工場訪問)
A12	<input type="checkbox"/> 共同研究
A13	<input type="checkbox"/> 研究成果発表会
A14	<input type="checkbox"/> 技術研究会・異業種交流会
A15	<input type="checkbox"/> 産学交流事業
A16	<input type="checkbox"/> 製品開発支援ラボ(貸し実験室)
A17	<input type="checkbox"/> その他

運営面への要望等【複数選択可】	
番号	
B1	<input type="checkbox"/> 手続きの簡素化 ※
B2	<input type="checkbox"/> 利用時間の拡大
B3	<input type="checkbox"/> 機器の充実
B4	<input type="checkbox"/> 職員の質向上
B5	<input type="checkbox"/> 情報発信・情報公開の 充実
B6	<input type="checkbox"/> 料金の支払いに関して
B7	<input type="checkbox"/> 相談窓口対応に関して
B8	<input type="checkbox"/> その他

※ 都産技研本部では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。



「運営面へのご要望等」に関して、具体的なご意見等ございましたらお書きください	
(例) B1	〇〇〇の依頼試験の際の支払い手続きを、もっと簡単にしてほしい。

(2) 興味や関心のある事業（サービス）・分野をお答えください。

区分	サービス・分野名	興味・関心 【それぞれ1つだけ選択】		
		A	B	C
		あ る 興 味 が	な い 分 か ら	無 い 興 味 が
新事業育成研究分野	環境・省エネルギー 輸出製品などの環境性能評価支援とともに、省エネルギー製品の設計・開発支援を行います。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	EMC・半導体 高周波や半導体分野の新技术を応用し、競争力のある高付加価値製品の創出を支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	メカトロニクス 最先端のメカトロニクス・ロボット技術を取り入れた製品の開発支援を行います。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	バイオ応用 バイオセンサー、バイオチップの研究開発・実用化を目指す企業を支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
都産技研重点分野	海外展開支援（MTEP含む） 皆様の事業の海外展開を支援するために国際規格対応支援の充実を進めています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	高度分析開発セクター 高機能な設備を集中設置し、機能性材料や環境対応の製品開発を支援するとともに、製品の不具合原因の解析を行います。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	システムデザインセクター デザインセンターの機能と設備を強化し、システムデザインセクターとして、売れるモノづくりを支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	実証試験セクター 温湿度、振動、腐食等の評価試験について一貫して、相談、依頼試験、機器利用ができ、安全で信頼性の高い製品開発を支援します。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
※ ブランド試験	音響試験 残響室、結合残響室、無響室、半無響室を備え、より高品質な技術支援（音響分析等）ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	照明試験 LED 照明機器等の新規格対応の性能評価試験、色彩測定、配光測定ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	高電圧試験 避雷器等の高電圧試験がコンピュータ制御により高い精度で実施できます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	非破壊透視試験 X線透過装置により、試験品の中まで透過する非破壊検査ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ガラス技術 高性能なガラスの開発支援及びガラスに対する特徴ある試験（破損事故解析、表面応力測定など）ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	環境防カビ試験 木質材料、プラスチック及び皮革製品等各種工業製品又は工業材料のカビに対する抵抗性を調べる試験ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	放射線測定 放射線計測では、サーベイメータを利用した各種放射線の計測、半導体検出器を用いた放射線核種の精密測定等を、放射線照射では、ガンマ線や電子線の照射等ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	高速通信試験 USB3.0 などの5GHz 帯域を中心とする高速シリアル通信規格に準拠した機器やケーブルに対し、電氣的適合試験ができます。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ ブランド試験とは、他県公設試験研究機関ではあまり行われていない都産技研ならではの試験のことです

(3) 都産技研の海外展開サービスについてお伺いします。

(A) 貴社が海外で生産している地域及び今後進出を考えている地域がございましたらお答えください。

海外で生産している地域 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	東アジア	国名()
	2	<input type="checkbox"/>	東南アジア	国名()
	3	<input type="checkbox"/>	北米	国名()
	4	<input type="checkbox"/>	欧州	国名()
	5	<input type="checkbox"/>	その他	国名()
今後進出を考えている地域 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	東アジア	国名()
	2	<input type="checkbox"/>	東南アジア	国名()
	3	<input type="checkbox"/>	北米	国名()
	4	<input type="checkbox"/>	欧州	国名()
	5	<input type="checkbox"/>	その他	国名()

(B) 海外生産において、国内との品質の相違等、技術的な課題はありますか
(海外での生産は協力工場でのものも含みます)

技術的な課題の有無 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ある
	2	<input type="checkbox"/>	ない

(C) Bで「ある」と答えた方のみ どのような内容ですか

技術的課題の内容	
----------	--

(D) Bで「ある」と答えた方のみ 技術的な課題があった場合、どのように対処していますか。

もしくは、対処方法を予定していますか。

対処方法 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	技術的課題は発生していない
	2	<input type="checkbox"/>	発生した際は、貴本社が対応する
	3	<input type="checkbox"/>	相談する支援機関・企業がある 【可能であればお教え下さい】 機関・企業名()
	4	<input type="checkbox"/>	企業運営上(立場場も含)回答できない
	5	<input type="checkbox"/>	その他()

(E) 都産技研が海外拠点で技術相談業務を実施した場合、利用しますか。

利用の有無 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	する
	2	<input type="checkbox"/>	しない
	3	<input type="checkbox"/>	わからない

(F) 現地支援で技術相談業務以外希望する事業がありますか。

希望する事業	
--------	--

ありがとうございました。返信用封筒へ入れて投函してください。

登録番号・25（本）21

平成 25 年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成 26 年 4 月発行

発 行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10

TEL : 03-5530-2111（代表）

FAX : 03-5530-2765

URL <http://www.iri-tokyo.jp/>